

平成 31（令和元）年度  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
活動報告





## 目 次

1. 基本理念	2
2. 学内環境整備の取り組み	2
3. 実施体制	3
4. 室員名簿	3
5. ミーティング	3
6. 平成31年度の取り組み	4
7. 事業実施状況	5
(1) 研究者支援	5
(2) ライフイベントとの両立支援	7
(3) 女子学生へのキャリア支援	14
(4) 多様な構成員の共生環境づくり	32
(5) その他	36
8. ニュースレター	38

## 1. 基本理念

鳥取大学は

- 世のため人のために頑張ろうと志す人の気持ちをくじくことなく、前向きに進んで行こうとする人を応援する職場・勉学環境
- 既婚、独身、同居、別居に関わらず家族を大切に、健全な家庭を育んでいける職場・勉学環境を形成していくことを目指します。

### 行動計画

- ・ライフイベントとの両立支援

ライフイベントと研究および職務を両立するための支援・情報提供および環境整備に取り組み、また相談活動を行います。

- ・キャリアデザイン支援

企業見学会や女性研究員・技術者との交流会、ライフプランセミナーなどを開催し、キャリアデザイン支援を行います。

- ・啓発活動等

多様な個性や価値観についての理解と認識を深め、学内の意識改革を進めるため、セミナーや講演会等を開催します。

## 2. 学内環境整備の取り組み

### ■研究者支援

#### 1. 研究支援員制度

技術補佐員、リサーチアシスタント、アルバイト等を雇用し、研究支援員として子育てや介護等のライフイベントにより、研究活動における支援を必要としている研究者に配置する。

### ■女子学生へのキャリア支援

#### 1. 女子学生・大学院生による企業見学会

女子学生・大学院生を対象とした、企業を含む研究・開発・試験期間等の見学および女性研究員・技術者との交流会を行う。

#### 2. ライフプランセミナー

妊娠・出産に関する知識と、キャリア形成を考える機会を提供する。

### ■ライフイベントとの両立支援

#### 1. 子育て・介護に役立つ情報提供

育児・介護に関する法律や本学の制度、地域自治体（鳥取市・米子市）の子育てや介護支援サービスに関する情報を、ホームページ、印刷物、セミナーなどで提供する。

#### 2. 相談活動

教職員を対象とする相談室を開設する。

### ■多様な構成員の共生環境づくり

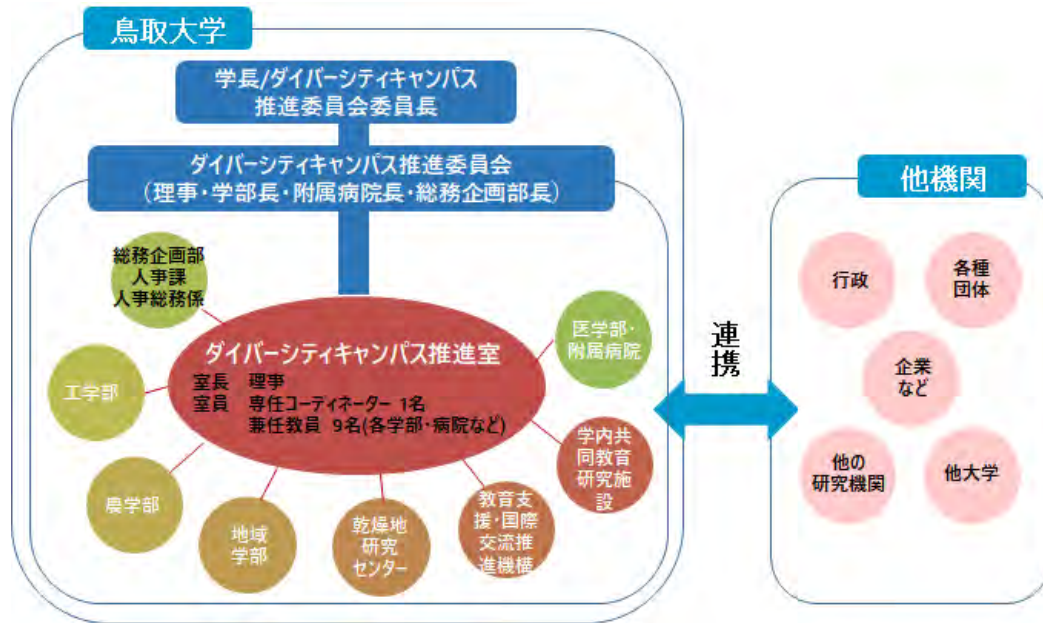
#### 1. 講演会・セミナー

多様な個性や価値観についての理解と知識を深め、学内の意識改革を進めるため、教職員、学生や大学院生を対象とした講演会、セミナー等を開催する。

#### 2. 学生スタッフ

キャンパスを変えていこうとする機運を高めるため、活動を行う。

### 3. 実施体制



### 4. 室員名簿

室長	理事	細井 由彦
専任コーディネーター	ダイバーシティキャンパス推進室 コーディネーター	長谷 順子
兼任教員	地域学部 准教授	畑 千鶴乃
兼任教員	医学部 教授	深田 美香
兼任教員	工学研究科 教授	野上 敏材
兼任教員	農学部 教授	竹内 崇師
兼任教員(2月末まで)	医学部附属病院 教授	内田 伸恵
兼任教員	乾燥地研究センター 准教授	安 萍
兼任教員	教育センター 助教	滝波 稚子
兼任教員	大学教育支援機構 教育センター 助教	稲津 秀樹
兼任教員	学生支援センター 准教授	井上 菜穂

### 5. ミーティング

平成31年度ダイバーシティキャンパス推進室ミーティングを計5回開催し、事業内容の検討および実施を行った。

- 第1回 4月19日 10時30分～
- 第2回 6月21日 10時30分～
- 第3回 8月 8日 13時30分～
- 第4回 11月13日 16時00分～
- 第5回 2月 3日 15時00分～

## 6. 平成31年度の取り組み

- 4月 1日 ダイバーシティキャンパス推進室へ名称変更
- 5月21日 地域学部地域創造コース1年生の「大学入門ゼミ」第5回講義『ハラスメントとダイバーシティ』にて講義。
- 6月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第29号発行
- 6月28日 FD研修 ダイバーシティセミナー『LGBTQの学生への支援と対応について』開催
- 8月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第30号発行
- 8月19日  
～23日 夏季学童保育『とりりんサマースクール2019』開催
- 9月17日 英語論文セミナー『論文執筆のための技術英語』開催：鳥取地区
- 9月24日  
～25日 『女子学生のための企業見学会（関西版）』開催  
ダイキン工業株式会社および花王株式会社 訪問
- 9月26日 性の多様性に気づく～互いを尊重し合うための基本知識と対応～ 参加  
第6回ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム連絡会「ダイバーシティ推進担当者のためのLGBTQサポートの原則」参加：千葉大学
- 10月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第31号発行
- 10月 9日 英語論文セミナー『論文執筆のための技術英語』開催：米子地区
- 10月15日 ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム（組織） 参加
- 11月18日 第8回中国・四国男女共同参画推進連携会議および  
第11回中四国男女共同参画シンポジウム  
全国ダイバーシティネットワーク組織2019年度中国・四国ブロック会議及びワークショップ 参加：島根大学
- 11月19日 『女子学生のための企業見学会（県内版）』開催  
大山乳業農業共同組合および株式会社山陰放送、ファミリーナダ株式会社 訪問
- 12月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第32号発行
- 12月17日 FD研修 コミュニケーションセミナー「自分も相手も大切に作るコミュニケーション術～童心に帰って自他尊重を考えよう～」 開催
- 12月11日 学生・大学院生対象 ライフプランセミナー「キャリアプランを考えよう」 開催
- 2月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第33号発行
- 2月 6日 令和2年度（第11期）研究支援員制度利用者 募集開始
- 3月 5日 令和2年度（第11期）研究支援員制度利用者 決定通知
- 3月 5日 鳥取キャンパス内2カ所（広報センター、附属図書館）にオールジェンダートイレを設置
- 3月10日 女子学生対象 地元企業による商品開発のためのグループインタビューへの協力
- 3月25日 LGBTQ等に関する基本理念と対応について（教職員向け）発行

## 7. 事業実施状況

### (1) 研究者支援

#### ○研究支援員制度

ライフイベントのために研究時間が十分にとれない研究者に対して研究支援員を配置し、研究活動に対する支援を行った。平成31年度第10期は、女性研究者5名、男性研究者1名の計6名に研究支援員の配置を承認した。

研究支援員配置を承認した研究者

	人数	内訳		理由	
		女性	男性	育児	介護他
平成31年度	6	5	1	6	0

#### <研究支援員制度利用者の声> (抜粋)

- ◆ 研究に関わる事務的な仕事を全て支援してもらい、物理的な作業等に関わる時間が大幅に減ったことで、学内の教育と並行しながらも、何とか、研究を遂行することができた。  
研究支援員の活用がない場合、休日や時間外、持ち帰りで作業をしなければ終わられなかったと想定されるので、その場合、研究がほぼ遂行できなかったか、子育て等、家庭での時間を犠牲にして、行わなければならなかったと考えるので、大変助かった。
- ◆ 研究についての支援があったために、教育等の業務にも支障が少なく、本来の職務を遂行する上で、大変有難く感じた。
- ◆ 支援員の配置により、仕事と家庭生活の両立ができ、今年度は特に自身の体調不良、子どもたちの体調不良も少なく、療養や看病による休暇取得も減り、精神的に仕事ができたと実感している。
- ◆ 子供の体調による早退・休暇に対して、研究支援員の手助けにより植物の育成、菌の培養、サンプルの調整や保存、研究結果を写真データとして残すなどの様々な対応をしてもらえ、効率的に研究活動を行うことができた。
- ◆ 研究支援員の支援により、時間的に少し余裕を持てるようになり、張り詰めた気持ちをリラックスすることができた。育児と仕事（特に研究活動）とのワークライフバランスが取れていない事による焦りやストレスが徐々に軽減されつつあり、前向きに育児や仕事に取り組めるようになってきたと感じている。研究支援員の配置により、子供の体調などによって急に早退したり休んだりした時に、実験材料や成果を無駄にすることがなく、研究支援員の手助けによりサンプルの調整や保存、研究結果を写真データとして残すなどの対応をしてもらえ、効率的に研究活動を行うことができた。
- ◆ 研究支援員の配置により、研究が効率的に進むようになった。その結果、帰宅時間が早くなり家族と過ごす時間が増えた。育児、家事に費やすことのできる時間も増えた。
- ◆ 支援員の配置により、実験および関連業務を安心して任せられたので、精神的な支えにもなってくれたと感謝している。実験および関連業務を安心して任せられたので、精神的な支えにもなってくれたと感謝している。
- ◆ I found the support of the research assistant very helpful in balancing work

and life. I was not in problem whenever I am enforced to stay at home for taking care of my kids. The support staff has managed to cover research activities that should be done during my absence.



## (2) ライフイベントとの両立支援

### ○学童保育『とりりんサマースクール』の実施

教職員のワークライフバランス改善を目的に、平成27年度より夏季学童保育『とりりんサマースクール』を実施。指導員、学生アルバイト、利用した教職員のアンケート結果等を踏まえて見直しを行い、8月に5日間の期間で実施した。

見直し点は、指導員の負荷、年少学年の負荷を減らすため、お弁当の持参としたこと、リーダーとなる指導員は1名とすることで指導員による判断基準の差を無くしたこと、毎昼学生も含めてミーティングを行った。



8/19(月)  
↓  
8/23(金)  
8:00~17:00  
(9時~16時コアタイム  
コアタイムは参加必須。  
延長18時まで)

# とりりん サマースクール2019

## ~参加者募集~

夏休み、大学で過ごしませんか？ モノづくりや実験、バスに乗ってのツアーなど楽しく学べるプログラムを用意しています。宿願もみんなてやれば頑張れるよ！

**対象：小学1~6年生**  
**定員：20名**  
**料金：800円(税別)/日**

★参加申込みについて  
・本学の教職員(週20時間以上勤務)のみならず  
・日中保育をする方が多いご家庭  
を対象とさせていただきます。  
応募者多数の場合は申込書の内容に基づき選考いたします。

### 日替わりのプログラム

8/19(月) 天文ドームと プラネタリウム 天文研究会	8/20(火) おもしろ 実験室 技術部	8/21(水) English Class 中島淳子先生 谷本マリン先生	8/22(木) 海と大地の 自然館ツアー	8/23(金) たんけん! 動物図鑑わたり 農学部 夏沼教授
---------------------------------------	-------------------------------	--	----------------------------	--

**申込方法**  
旧男女共同参画推進室のHPより参加申込書をダウンロードし必要事項を記入。必ずQ&Aをご一読の上、7月12日(金)17時までに、ダイバーシティキャンパス推進室までお申し込みください。  
尚、説明会を7月31日に開催しますので、必ずご参加ください。

主催、問い合わせ先：  
ダイバーシティキャンパス推進室  
TEL 0857-31-5769  
FAX 0857-31-5797  
diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp  
www.sankaku.tottori-u.ac.jp/

【開設期間】 令和元年8月19日～8月23日（5日間）

※大学の試験期間終了後、学内の夏季休暇中に実施

【保育の拠点】 湖山クラブ ロビー、和室

【保育の対象】 本学教職員（週20時間以上勤務）の児童（小学1年生～6年生）で、日中に保育できない家庭

【保育体制】 ①指導員 3名

1) シルバー人材センターより小・中学校教員免許保持者の派遣 1名

2) ファミリーサポートセンターより紹介（有期契約職員） 2名

小学校外国語支援員（有期契約職員） 1名

②学生サポーター（アルバイト雇用） 3名（1日3名のシフト制）

※コーディネーターが、拠点の開錠・施錠および、プログラム開催時の対応等を行った。

【保護者負担】 児童1人あたり 1日800円（体験プログラム諸費用、おやつ代含む）

※原則「800円×入所決定日数」を保育料として負担

【参加児童数】 16人

（人）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
男	0	1	2	0	0	2	
女	0	2	3	2	2	2	
計	0	3	5	2	2	4	16

※参加児童の小学校については次のとおり。

附属5人、久松2人、

湖山西・賀露・浜坂・中ノ郷・久松・岩倉・津ノ井・鹿野・県外各1人

【体験プログラム】

8/19 開校式



8/19 天文ドームとプラネタリウム (天文研究会)



8/20 おもしろ実験室 (技術部)



8/21 English Class (小学校外国語支援員)



8/22 海と大地の自然館ツアー





8/23 たんけん！動物医療センター（菱沼先生：農学部）



8/24 閉校式

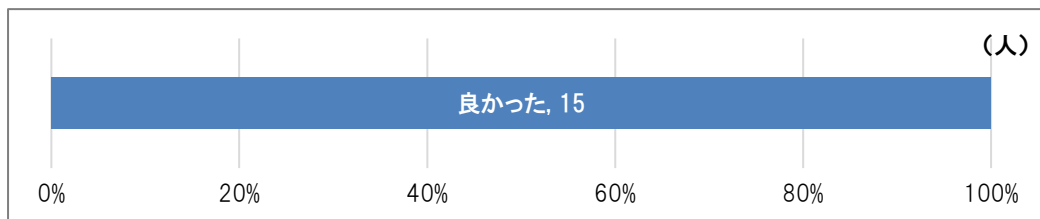


学習の様子

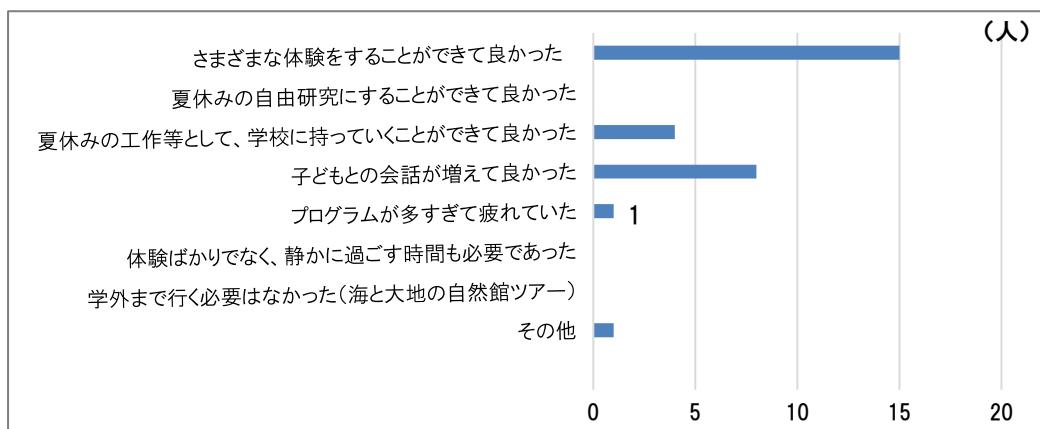


【アンケート結果：保護者（教職員）】 回答率100%

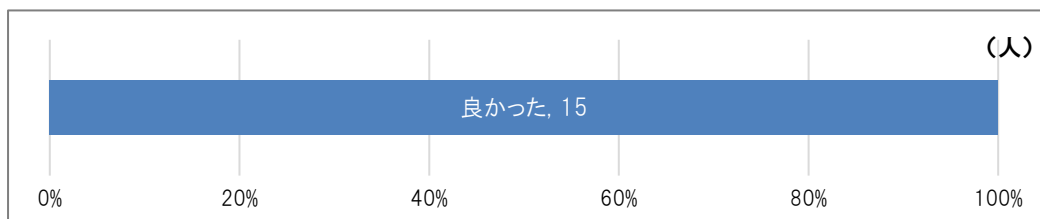
Q: とりりんサマースクール2019に参加させて良かったと思いますか



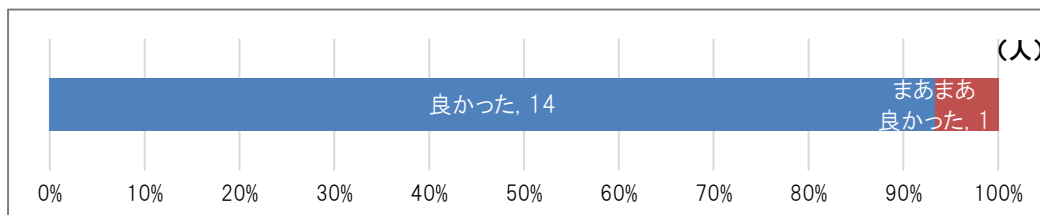
Q: 今年度は、体験プログラムの内容を充実させ、毎日日替わりで実施しました  
これについて、該当するもの全てを選択してください



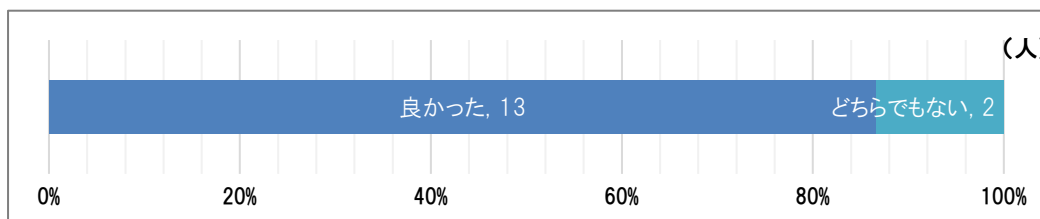
Q: 主の指導員として、元教員の方にお願いしましたが、いかがでしたか。



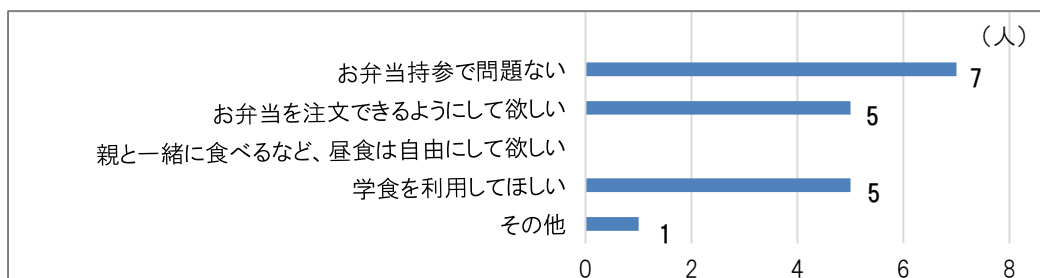
Q: サブの指導員として、ファミリーサポートセンター、外国語支援員の方にお願いしましたが、  
いかがでしたか。



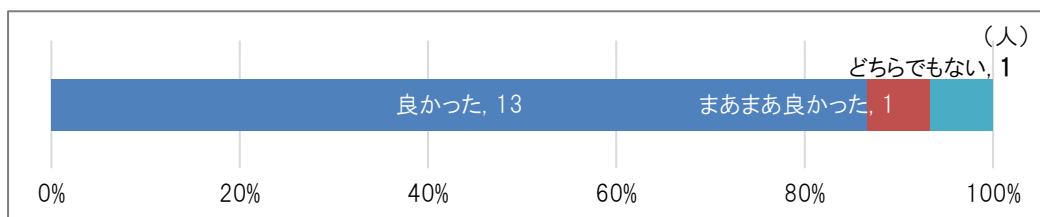
Q: <学習について>今年度は、持参された学習教材が終わったお子さんには、指導員からプリントを提  
供させていたいかがでしたか。



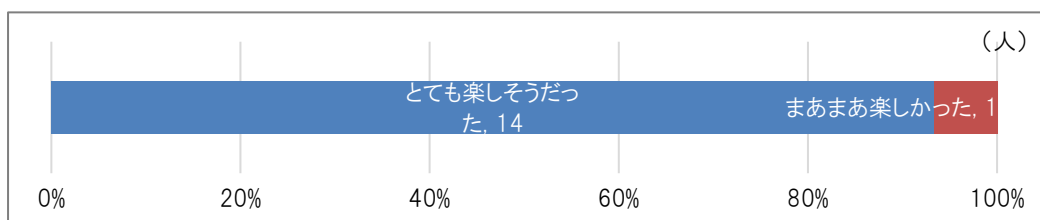
Q: <昼食について>お金の紛失、炎天下学生食堂往復による子どもたちの体力消耗などを配慮し、お弁当をお願いしました。期間中、天候も悪く、安心して食事をすることができました。昼食に関して、ご意見をお聞かせください。



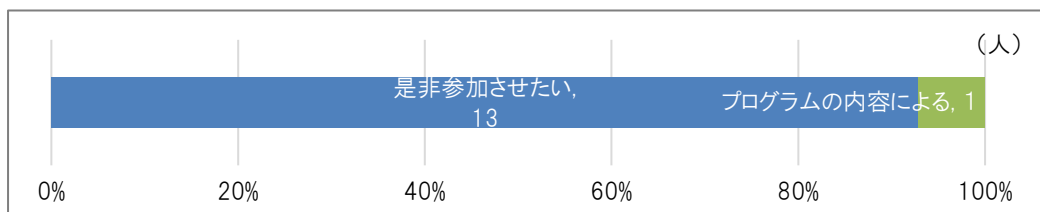
Q: <おやつについて>フルーツゼリーやアイスなどを毎日日替わりで提供しましたが、いかがでしたか。



Q: とりりんサマースクール2019期間中のお子さんの様子はいかがでしたか



Q: 来年実施する場合、また参加させたいと思いますか



## ○英語論文セミナー

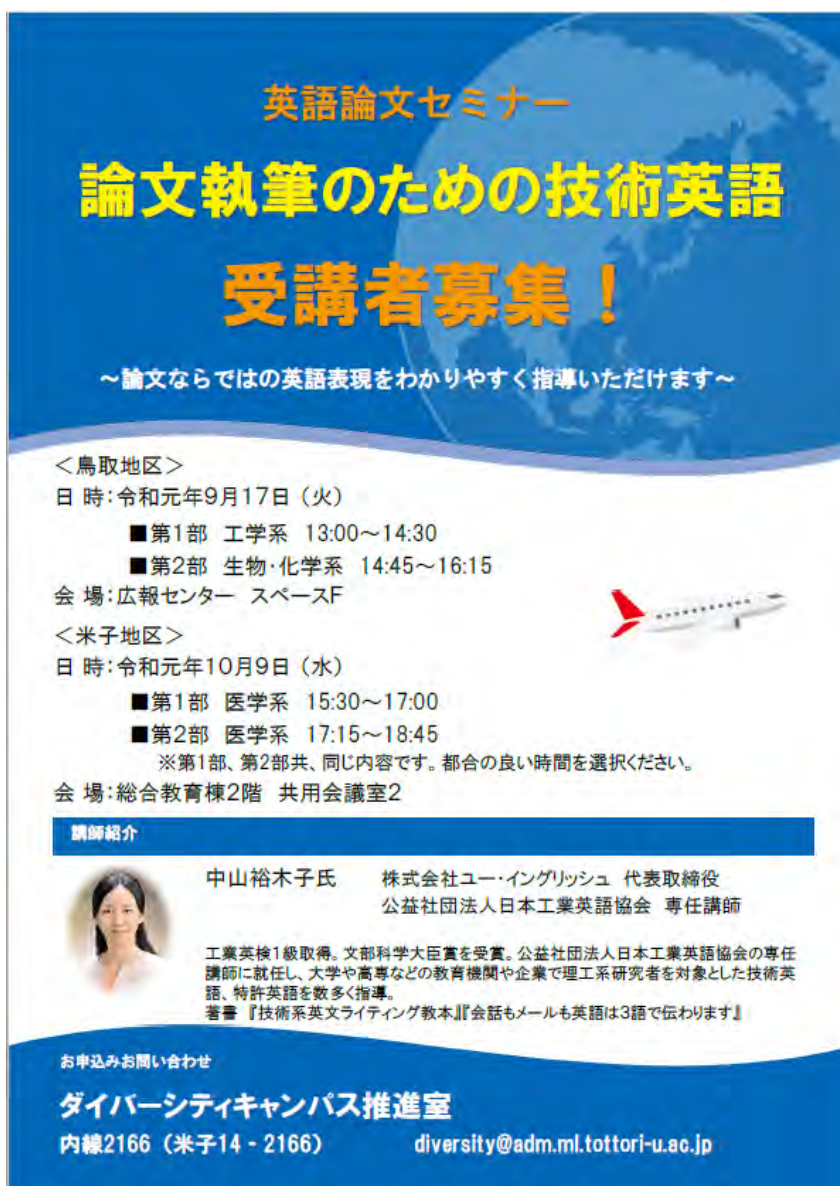
9月17日に鳥取地区、10月9日に米子地区において、毎年開催し好評の中山裕木子氏による「論文執筆のための技術英語」を開催した。本年度は、鳥取地区にて工学系、生物・化学系の2分野、米子地区では、医学系を2回に分けて実施した。

セミナーの内容について、「とても良かった」「良かった」と9割以上、講師の評価は「とても良かった」「良かった」と全員が答えており、非常に評価が高い。ただし英語レベルについては、半数が「ちょうどいい」としているが、半数が「やや難しかった」「難しかった」と回答。

セミナーは、例題を各自が解き、その場で講師が解説することを中心にするが、時間が短すぎるという意見も多い。

旧男女共同参画推進室時代に、女性研究者支援の一環として本セミナーを開催してきたが、男性研究者の参加も多く、来年度以降は研究開発推進機構へ移譲する。

### 案内チラシ



The flyer is titled "英語論文セミナー" (English Paper Seminar) and "論文執筆のための技術英語 受講者募集!" (Technical English for Paper Writing - Student Recruitment!). It features a blue background with a globe and an airplane. The text is in Japanese and provides details for two sessions: one in Tottori on September 17th and one in Misaki on October 9th. It lists the times and topics for each session, the venue, and the instructor's name and credentials. The instructor is Yuki Nakayama, a representative director of Yoo English and a specialist instructor for the Japanese Industrial English Association. The flyer also includes contact information for the Diversity Campus Advancement Office.


**英語論文セミナー**  
**論文執筆のための技術英語**  
**受講者募集!**

～論文ならではの英語表現をわかりやすく指導いただけます～

<鳥取地区>  
日時:令和元年9月17日(火)  
■第1部 工学系 13:00～14:30  
■第2部 生物・化学系 14:45～16:15  
会場:広報センター スペースF

<米子地区>  
日時:令和元年10月9日(水)  
■第1部 医学系 15:30～17:00  
■第2部 医学系 17:15～18:45  
※第1部、第2部共、同じ内容です。都合の良い時間を選択ください。  
会場:総合教育棟2階 共用会議室2

**講師紹介**

 中山裕木子氏 株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役  
公益社団法人日本工業英語協会 専任講師

工業英検1級取得。文部科学大臣賞を受賞。公益社団法人日本工業英語協会の専任講師に就任し、大学や高専などの教育機関や企業で理工系研究者を対象とした技術英語、特許英語を数多く指導。  
著書『技術系英文ライティング教本』『会話もメールも英語は3語で伝わります』

お申込みお問い合わせ  
**ダイバーシティキャンパス推進室**  
内線2166 (米子14 - 2166) diversity@adm.ml.tottori-u.ac.jp



### (3) 女子学生へのキャリア支援

#### ○女子学生の企業見学会＜県内企業＞

今年度は、ふるさと鳥取県定住機構とCOC+事業推進室との共同開催で「企業見学バスツアー&交流会 for 鳥取大学」として実施した。

“女性が活躍している職場とは？”と題し、本学の卒業生が活躍している大山乳業農業協同組合、株式会社山陰放送、ファミリーイナダ株式会社を訪問。各企業の見学のほかに、各企業の女性社員とのランチ交流会を実施。今後インターンシップや就職活動を行うにあたり、“働く”とはどんなことかを現場で直接見、知ることができた。(11名参加)

案内チラシ

**企業見学バスツアー&交流会  
for 鳥取大学**

ストレスオフ県ランキング1位の鳥取県!  
- 女性が活躍する職場とは? -

実際の職場を見学して、企業・業界のことを勉強しよう!  
昼食交流会では、若手社員との交流あり!!

申込期限 **11/21**まで

**日時**  
2019年 **11月29日**(金) 8:30 ~18:00

**対象者** 鳥取大学女子学生 (学年学部問わず) **定員** **20名**

**スケジュール**

- 8:30 鳥取大学出発
- 9:45-11:00 企業見学【製造業】  
①大山乳業農業協同組合
- 12:00-13:15 昼食交流会  
レストランアザレアコート
- 13:30-14:45 企業見学  
②株式会社山陰放送【情報通信業】
- 15:15-16:30 企業見学  
③ファミリーイナダ株式会社【製造業】
- 18:00 鳥取大学到着

**申込先** **COC+推進室へメールにて**  
アドレス:coc-plus.office@m.ladm.tottori-u.ac.jp  
お問合せ:0857-31-6028(担当:沖)

**主催** ふるさと鳥取県定住機構・鳥取大学COC+事業推進室  
鳥取大学タイバシティキャンパス推進室

**協力** 鳥取大学キャリアセンター

地(知)の拠点



平成31年度・令和元年度

女子学生のための企業見学会（県内）を開催しました

女子学生のための企業見学会2019（鳥取県内版）を開催しました！

3年目となる今年度は、ふるさと鳥取県定住機構、鳥取大学COC+事業推進室、鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室との共同開催で、「企業見学バスツアー&交流会 for鳥取大学」として実施しました。

今年度は、中・西部地区の女性が活躍する企業3社に訪問しました。最初に訪れたのは、琴浦町にある大山乳業農業協同組合。牛乳や乳飲料を製造している工場を見学した後、本学のOGである2名の女性管理職の方より、入組されて今日に至るまでのプライベートを含めた経歴を年表にしてご説明頂きました。

米子市にある株式会社山陰放送（BSS）では、ラジオを生放送しているスタジオ、編成室や、夕方のニュース番組を放送しているスタジオ、取材した事件、事故、身近な話題などを編集する部屋などを見学。小林アナウンサーより、放送局への入社、アナウンサーになった理由、今までで一番大変だったことなどをお聞きました。



大山乳業での様子



山陰放送での様子

ファミリーイナダ株式会社では、広大な敷地の工場内を見学、自然環境豊かな大山に工場が設立された理由や事業について、また2名の女性社員より、会社を選んだ理由や現在の仕事内容などをお聞きました。

途中昼食交流会として、訪問した3企業より各1名ご参加いただき、和やかな中、ざっくばらんに話を伺うことができました。



ファミリーイナダでの様子



昼食交流会での様子

参加した学生は、「就職が全てじゃなくて就職してからがやはり大事なのだなと感じた」、「企業で頑張っている様々な人に出会えて、すごく学ぶことができた」「社会人の方のお話を聞いて、自分の理想の働き方に関する考え方が変わった」との感想が寄せられました。

本企業説明会にあたり御対応いただきました各企業および社員の皆さま、ならびにご協力いただきました皆さまに御礼申し上げます。

▲ 先頭にもどる

<アンケート結果>

所属学部

学部	地域学部	農学部	工学部	大学院	合計
人数	3	3	4	1	11

学年	1年	2年	3年	4年	院生	合計
人数	2	3	6	0	0	11

出身地

出身地	県内東部	県内中部	県内西部	鳥取県外	未記入	合計
人数	3	0	0	8	0	11

見学会をどのように知ったか

① 大学ホームページ	2
② 学内掲示板	3
③ 教職員に聞いた	1
④ 友人、知人に聞いた	3
⑤ 学生向けメール	1
⑥ キャリアセンター(ポスター・チラシ)	1
⑦ 学生会館、共通教育棟テーブルのPOP	2
⑧ その他(ちよい飯に参加した際に勧めもらった)	1

参加動機(複数回答可)

① インターンシップ、就職活動を始める前に働くとはどんなものか知りたかった	6
② 職種の理解を深めたかった	6
③ 働いている人(鳥取 OG、女性社員)の話を聞いてみたかった	5
④ その企業自体に興味があった	4
⑤ 働く上でどんな能力が必要なのか知りたかった	3
⑥ 女性としての働きかたに興味があった	5
⑦ 鳥取県の企業について知りたかった	5
⑧ その他(将来も考えやすかった)	1

見学会は今後の就職活動に役立つか

①役に立つ	②どちらともいえない	③役に立たない	未回答
10	1	0	0

## 【アンケート自由記入】

### ●就職活動に役立つと思った理由

- ・就職が全てじゃなくて就職してからがやはり大事なのだなと感じたからです。
- ・どういう思いで働かれているのか、なぜこの企業にしたのか知れたから。
- ・企業で頑張っている様々な人に出会えて、すごく学ぶことができた
- ・今まで就職活動を全然していなかったのですが、今回参加して、就活がとても楽しみになったので役に立ちました。
- ・古志さんと話しているときに、福利厚生を求めるなら公務員だけど、自分のしたいことができるのは企業とおっしゃっていて自分の心にすんと落ちた。今回でとても意識が変化した。
- ・社会人の方のお話を聞いて、自分の理想の働き方に関する考え方が変わったから。
- ・希望する職種でなくてもお話が就活する上で印象的だった。
- ・現場を見ることで少しでも自分が働くイメージが出来たから。

### ●県内就職を考える上で、不安に思うこと、知りたいことなど

- ・不安に思うことは自分のやりたい職種が少なく、選択肢としてあまり選べないということです。(情報が得られていないだけかもしれませんが)
- ・就職してから一人で生活費、奨学金などを払いながら暮らせるのか。(給料は足りるのか)
- ・理系の方がやはり、就職先が多いこと。(文系は限られる)
- ・鳥取はつまらなくないか。
- ・地元が少し離れているので家業が継げないこと
- ・親元を離れて知らない土地でも暮らしていくのが不安。
- ・地元出身で県内就職をされた方のポジティブな動機。自分の場合、諦めが理由になってしまいそうなので・・・

## ○女子学生の企業見学会<関西企業>

女性研究者の裾野拡大と女子学生のキャリアデザイン支援の一環として、キャリアセンターに協力いただき平成24年度から旧男女共同参画推進室が実施。今年度は19名が参加、ダイキン工業株式会社（大阪府）と花王株式会社（和歌山県）の2社を見学した。

### 案内チラシ

**交通費・宿泊費無料**

研究所や開発現場で活躍する女性研究者・技術者の話を聞こう！！

女子学生のための  
**企業見学会2019 <関西編>**  
～参加者募集～

日程……………令和元年9月24日(火)～25日(水) (1泊2日)  
見学先……………ダイキン工業(株)  
大阪府摂津市 テクノロジー・イノベーションセンター  
花王(株)  
和歌山県和歌山市 和歌山工場/和歌山研究所

対象……………本学の女子学生・大学院生  
※7月25日(木)に開催する説明会に参加ください  
※米子地区の参加者には別途説明を行います

定員……………20名(先着申込順)

参加費……………交通費・宿泊費無料 ※食事代は負担頂きます

申込締切……………**令和元年7月17日(水) 午後5時**

**申込方法**

参加申込書を、旧男女共同参画推進室のHPよりダウンロードまたは、キャリアセンターで入手し、必要事項を記入の上  
① [diversity@mladm.tottori-u.ac.jp](mailto:diversity@mladm.tottori-u.ac.jp)へメール添付  または  
② キャリアセンターへ申込書を持参 ください。

主催・お問い合わせ先:  
**ダイバーシティキャンパス推進室**  
TEL 0857-31-5769  
MAIL: [diversity@mladm.tottori-u.ac.jp](mailto:diversity@mladm.tottori-u.ac.jp)  
http: //www.sankaku.tottori-u.ac.jp/  
協力:  
**キャリアセンター**

地域学部棟4階





## HP掲載

令和元年9月24～25日、1泊2日の日程で、『女子学生のための企業見学会2019』を実施しました。この見学会は、女性研究者の裾野拡大と女子学生のキャリアデザイン支援の一環として、キャリアセンターにご協力頂き、平成24年度から旧男女共同参画推進室が実施しています。今年度はダイキン工業株式会社と花王株式会社の2社を見学しました。

1日目は、大阪府摂津市にあるダイキン工業株式会社のテクノロジー・イノベーションセンター（TIC）を訪問しました。TICは、2015年に設立された研究所で、1階受付を入ると心地よい香りが漂い、空気・空間を第一に考える企業であることがうかがえました。

仕切りの無い研究室やオープンにディスカッションできるスペースなどTIC内を見学後、3名の女性研究者より仕事内容を伺い、その後グループに分かれて懇談の時間をもちました。



2日目は、和歌山市にある花王株式会社の和歌山工場を訪問しました。衣料用洗剤の工場を見学した後、エコラボミュージアムにおいて環境への取り組みのお話、その後女性研究者の方々のお話を伺い、質疑応答させて頂きました。

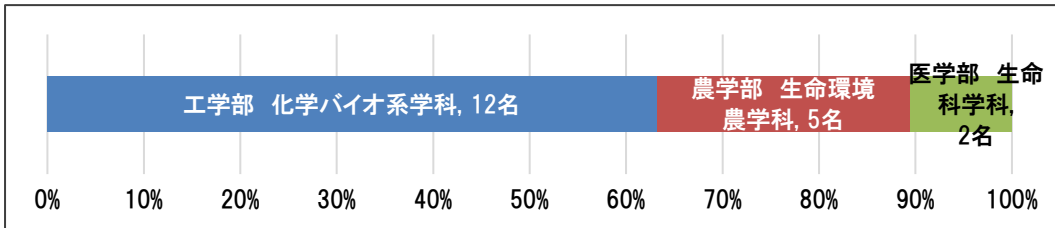


参加した学生より「実際に企業で働く女性がプライベートを充実させながら、また家庭や育児と両立させながら、いきいきと活躍されている姿をみてモチベーションにつながった」「女性が働く上でどのような問題があるかを改めて身近なものとして考えることができた」との声が寄せられました。

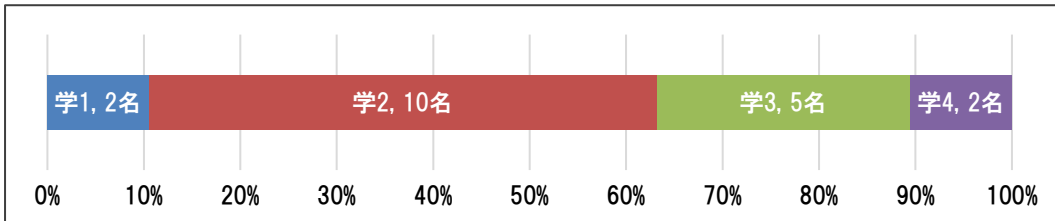
ご対応頂きました両社ならびにご協力・ご尽力いただきました皆様に御礼申し上げます。

## <アンケート結果>

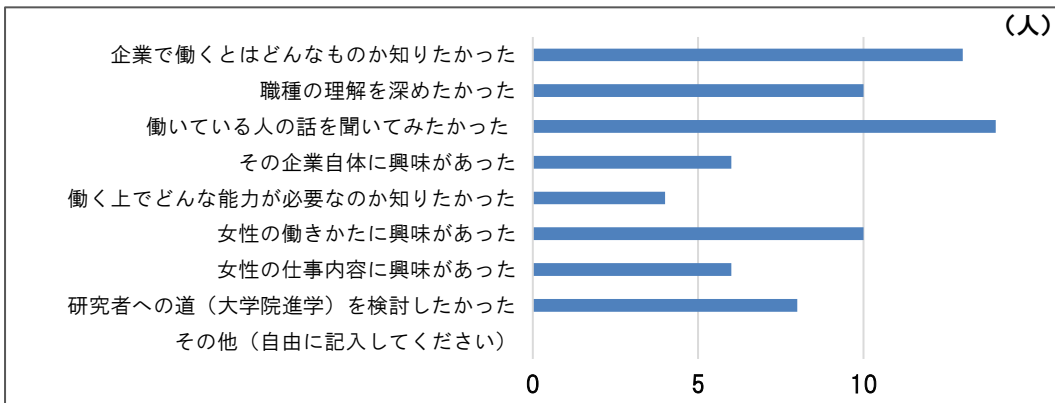
### 所属学部



### 学年



### 参加動機（複数回答）



### 【アンケート自由記入欄】（抜粋）

#### ●ダイキン工業を見学して感じたこと

- ・社員どうしの仲が非常に良く、とても過ごしやすい環境であると感じた。建物も開放感があって話し合いや相談がしやすい雰囲気であり、また集中したいときには、一人になれる空間があって仕事もはかどりそうであった。「空気をよむな、空気をつくれ」のスローガンにもあるように個々が新しいものを作りたという意識を持ち、研究を行う楽しそうな企業であると思った。また、グローバルな企業であり、特にエアコンのシェアが高く、現在はアジアを中心にシェアをのぼしており、これからさらに業績が上がるであろうこれからの企業であると思った。（農学部2年）
- ・働いておられる女性社員の方々のお話を聞いたり、質問したりしていると、たしかに大変なこともあるが仕事を楽しんでしていることがよく伝わってきた。また、結婚して出産した女性の生活スタイルなども聞けて、より自分の希望する将来像をしっかりと想像できるようになった。また、働く女性とは少し関係ないが、就活について、どのような点を大切にすべきか、ということや”1つだけゆずれないポイントを作った方がいい”など、なかなか聞けない貴重な話を聞くことができた。（医学部2年）
- ・まず、社内に入って、とても清潔感があり、きれいだなと思いました。基本的に白色の内装で、入った瞬間のライムの香りがリラックス効果を生み出してくれていたように感じます。また、案内してくださ

った方々がみなさん笑顔で接してくださり、とても緊張がほぐれました。ダイキン工業さんがこれからのようなことを目標としてやっていくのか、今、何をしているかなどの説明はとても分かりやすく興味を持ちました。社内見学させていただいたときは、意外にも女性の方をお見かけしたので、働きやすいような雰囲気であるなど感じました。そして、ガラス張りな内装が私はとても気に入りました。開放感あふれるオフィスで仕事ができると、気分が良いだろうなと思いました。また、女性社員との質疑応答の時間では、フレンドリーにお話をうかがったり、お聞きすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができたと思いました。私が思っていたよりも、女性が働きやすい環境が整っているなど感じました。もう一度行ってみたいと思える企業だと思いました。(医学部2年)

- ・初めて企業を見学しましたがまずきれいだなって思いました。自社のことをガンガン押しこられるのかと思いきや本当に私たちの将来の道しるべになるような助言を多くくださったのがとても印象的でした。女性技術者との会話の中で実験が大学と違って自分で手引きを作り安全確認を行った上でやらないといけないということがあったので大変そうだなと思いました。企業の説明をして下さった方が大学と仲良くして、色々な人と知恵を出し合っより良い商品を生み出そうとしていて、これがこれからも成長していける企業の特徴なのかと思いました。あと、職員さん同士話しやすそうで企業全体として仲良く協力がしやすい関係が築けているのではないかなと思いました。(工学部2年)
- ・女性の方々がとても生き活きと働いていて、みていてとても清々しかった。有給休暇取得率が93.5%で、今日話されていた女性の方も入社4年目で去年100%使ったとおっしゃっていて驚いた。会社の中で実証実験を至る所でしたり、10年かけて考えぬかれた設計に感嘆した。特に、全面ガラス張りの部屋はとてもいいなと思ったのと、お互いが何をしているのか一目で分かる構造になっていることが、いい刺激にも声をかけやすい雰囲気にもつながっているのかなと感じた。オープンな空間、個室、など使いたい人に応じた環境があって、働く場所も、自分でリラックスできる場所に行ったりと自由で、働く時間も柔軟に対応されているところがこんな企業で働きたいなと思った。とても人を重視した企業であることが伝わった。これだけの大企業でも常に想像力を働かせて、常に挑戦、成長し続けようと奮闘しているところに感動した。また、こういうような会社の理想を自然と社員の方全員が楽しみながら取り組んでいる様子が伝わってきていいなと思った。(工学部1年)
- ・女性の研究者の方もたくさんいて、女性が働きやすい環境だなと感じた。休みを取って連休にできたりなど楽しく働くことのできる会社だなと感じた。実際に働く女性社員の方の話を聞いて、就職についてや、大学生活についてなどたくさん事を聞くことができた。インターンシップに参加した時の事など、これから自分がどうしたらいいのかを学ぶことができた。ワークスペースが広くて、いろんなグループの人たちと話すことができる環境はすごく良いなと感じた。別の研究グループの人と交流できるため、互いに様々な情報を得ることができるなと感じた。新入社員の人たちが情報大学でたくさん事を学んで、同期の人たちと共にレベルアップできる制度は良いなと感じた。また、院卒でなくても学部卒でも働くことができるのは1つの魅力だった。(工学部2年)
- ・育休期間の空き時間に、阪大で勉強させてもらえるというのを聞いて、とても憧れました。金属を専門とする方が、現在の仕事内容のために物理について勉強したり、アイデアの生み方などに関する本を読んだりしていると聞いて、そういうのいいな、と思いました。新しいことを学びつづけることができる職業への憧れが強まりました。ヒューマンコンディショナーの概念図がおもしろかったです。情報技術大学で新入社員が勉強できるのはとてもいいなと思いました。産学連携にもいろいろな形があるのだ

ということを知りました。「世界一周インターン」は斬新すぎて、驚きを通り越して素敵だなと思いました。TICの3Fのところに、4Dのディスプレイや空気砲の目覚ましなどその企業の最新トピックスに触れられるコーナーがあり、他部署の人も最新技術について知れるようになっていいなと思いました。自分がもし何かの社長になったら、こういうの取り入れたい！って思うようなものがたくさんありました。空調の会社なのに機械系以外の方も活躍されていると聞いて意外だなと思いました。お名前は残念ながら忘れてしまったのですが、男性社員さんの会社説明や建物の案内の話しぶりがとても聞きやすいし説得力もあるしもっと話を聞いてみたくなりました。自由図書館があるのが面白かったです。分野違いの人でも活躍するチャンスがありそうだ、と感じました。やはり海外赴任ができる人材を目指すべきなのでしょうか。そのことについてもう少し自分と向き合ってみる必要があると感じました。社員さんとお話できる時間がありましたが、そういうときは、同じ班になった人によって有意義な時間になるかが変わるな、と思いました。今回はとても雰囲気がよく質問しやすかったので、同じ班の方々にもとても感謝しています。(工学部2年)

- ・私が今関心をもっている分野、これから研究室で取り組む分野に近く、とても楽しかった。企業に入っても勉強や行動力は大事だと思った。統計やプログラミング、英語の勉強を始めようと思います。(農学部3年)
- ・ダイキン工業の歴史から実際に働いている様子まで多くのことを実際に見ることができたので、とても良かった。想像以上に施設がきれいでもとても驚いた。自分が学んだことと異なる仕事をしている人が多く、自分の成長もできるととても素晴らしい企業だと思った。ダイキン工業の雰囲気がとても気に入り、アットホームであるけれど仕事との線引きがしっかりされていてとても良かった。実際に働いている女性の方からも多くの話を聞くことができ、働いている人にとって働きやすい環境が整っていることも実感できた。(工学部1年)
- ・男性・女性関係なく”人”に注目し、大切にしている企業で働きやすい印象を受けました。例えば希望者は企業に就職してからその中の大学に所属して学べたり、オフィスが開放的でストレスレスで働けそうな雰囲気であったり、有休を5日連続で取ることが可能だったりというものです。また、試作品をとりあえず形にしてみても、その中から新たなアイデアを得ることもあるという姿勢や、空気に匂いをつけて好みを調査するために実際にエントランスで実施するというところからも新しいことにチャレンジしてみようという前向きなスタンスが見られて素敵だなと感じました。(工学部2年)
- ・エアコンだけでなく化学のこともほんの少し行っていた。オフィスはガラス張りのところが多く、とても開放的だった。女性社員・研究員の方々がいきいきと楽しそうだった。エントランスの空気に日替わりで香りをつけたり、エントランスにイスや机を置かなかったり、独特の工夫がされていてもよかった。社員の方々が働きやすい環境づくりがされていた。有休取得率や男性の育休取得率がとても高いと感じた。かなりグローバルな会社でおどろいた。(工学部2年)
- ・会社自体とても大きくて、建物も天井が高く広々としていて工場の狭くておもしろいイメージはまったく無かった。また、ほとんどの人が作業服を身につけておらず、とても清潔感のある服装をしていた。そして、そこで働く女性はみんなキラキラ活き活きとしていた。また、資料によると有給取得率が非常に高いことを知って驚いた。エアコンなど空調に大きく重点をおいている会社というだけあって、会社内のいたるところに様々な風を感じられる場所があった。一階のエントランスでは毎日日替わりで匂いがちがって、それに対する感じ方の簡単な調査も社内ですべて、いいデータにもなり、商品の昇上化



にもつながるし、また、会社へ行って「今日はどんな香りだろう」と楽しみになるし、シールを貼るのも一つの楽しみになって会社へ行くのが楽しくなりそうだなと感じた。2階では1階のような神聖さが消えて、明るい雰囲気でもどが大きく、難しい会議でもあまり暗くならず話し合えそうな空間だった。建物もそこで働く人たちも明るく、ダイキンへ行く前と後で大きくイメージが変わった。質疑応答では、学部卒で良かったという意見も、院卒で良かったという意見もあったが、院卒だと選択肢は広がるけれど婚期などは遅れてしまうと知ったので自分の行きたい企業を早めに見つけて学部卒でも大丈夫そうなら院に行くのはやめようかなという考えもでてきた。(工学部2年)

- ・見学してみてもまずオフィスがキレイだなんて思いました。ロビーから考えられて設計されていたり、女性社員の意見を取り入れて設計された階もあるそうで、働きやすそうだと思います。そのほかにも会議に合わせた部屋だったり、全体的にガラス張りで開放感がある感じで圧迫感がなく働きやすそうでした。女性社員の方の話聞いてみて印象的だったのは学部卒の方がいらしたことです。自分の中で大企業に就職できるのは大学院卒の方ばかりだと思っていたからです。みなさん説明会に行かれてダイキンの雰囲気が良くて直感や感覚で決めたとおっしゃっていて、そうやって自分に合った就職先を決めていけばいいんだと学びました。(工学部2年)
- ・会社の設計はかなり細部までこだわってつくられており、日頃の生活からわかるデータを特に大事にしていると感じた。また、ささいなことでも身近に感じる感覚を重要視しており、できる限り多くの情報を集められるような工夫がされていた。また、働く人のことを大切にしている会社だと感じた。有休の取得率もそうだが、開放的な空間作りや体験コーナーなどストレスを少しでも軽減したり、働く人がいろいろなアイデアを創造しやすい空間づくりがされていた。社員の方々の話からもわかるように、非常に働きやすい職場であり、人間関係も良好な職場であると強く感じた。他にもグローバルな企業になるためのセミナー開催や外国派遣など未来の経営方針も明確で成長し続ける企業であると感じた。他にもフッ素や情報大学など新しい取り組みに力を入れており、他社との差別化がしっかりされていると感じた。AIなどの最先端技術に力を入れることでこれから先も最前線で発展していける企業だと感じた。(農学部3年)
- ・女性社員だけでなく会社全体がとても楽しそうに働いているように思えた。また、女性の仕事の体制について、女性のキャリアUPやスキルUPについての支援があること以外にも出産後に年間20万円までベビーシッター費用を会社が支援することや在宅勤務や短時間勤務もできるなど結婚後でも働けるのはとても魅力的に感じました。また、有給取得率が90%を超えることや最大5日間連続で休みをとれることなどから、福利厚生が良いと感じました。また、研究室で今しているテーマと違っても、そのような人たちがたくさんいると知り、企業を選ぶ幅が増えたような感じがしました。(工学部4年)
- ・まず、入ってすぐ、エントランスが広くて、とてもきれいだった。ガラスばりの外観も含め、こんなきれいな職場で働くのは憧れだと感じた。廊下や各部屋も広々としていて、息苦しくない空間だった。会社説明では、ダイキンに対するイメージが具体的なものになった。例えば、空調だけでなく化学工業も行われているということ、企業向けや海外向けの製品については全く知らなかったが、それはダイキン工業の中で大きな部分を占めており、特に海外事業の割合は近年大幅に拡大し、今や8割ほどを占めているということについて知ることができた。研究についても様々知ることができ、ただあるだけと思っていた空気をいかに作っていき、人に影響を与える空間を作ることを目指した研究はとても面白そうに感じた。また、入社して2年間は勉強させてもらえるというのは、個が成長できて、とても良い環境

だと思った。また、女性社員とのお話では、実際働く女性からの声を気軽にたくさんうかがうことができ、楽しかったし、この企業の空気感や働きやすさがとてもイメージしやすかった。女性であることの苦勞が大きいとイメージしていたが、それはなく、むしろ働きやすくて出産後も仕事復帰する人が多いようだった。ダイキン工業は「人を軸にした経営」というように、性別に関わらず誰でも働きやすい企業で、皆がいいたいことをいいやすく、風通しの良い企業であり、このような企業に勤めたいと思った。

(工学部4年)

- ・まずはじめに、オフィスがとてもキレイでオシャレだと思った。エントランスにある香りの実験から3階にある空気(風)を使った実験まで、研究所だけでなく社内全体でアンケートを利用して空間について考えたり、ベッドの空気砲から新しい視野で空気について考えるアイデアを得たり、実践を重視している企業であることが感じられた。企業説明でも言われていたように、先が見えずこれからも成長していく会社とともに自分自身も成長することのできる場であることが分かった。自分のアイデアがそのまま形になる、働きがい強く感じられる企業だと思った。実際に社員の方とお話をさせて頂いて、学部卒や在学中の専攻分野と異なる分野であることへの心配や不安もなくなり、研究内容が違っても活躍ができるチャンスがあることを知れて良かった。会社の概要については、ばく然としたイメージしか持っていなかったため、グローバルに市場を広げていることや女性社員、研究員の活躍、有給消化率の高さなどを知り、こういう社会で働けたなら幸せだろうと感じた。社員みなさんが楽しく生き活きとしていらっしやって会社の良さが伝わってきた。(農学部3年)
- ・活動的な女性が非常に多いなど今回の見学を通して強く感じました。見学・説明会に参加する前は、女性の活躍が難しそうな職場というイメージでしたが行ってみると本当に全く違ったものでした。最初に考えていたイメージとは360度違う印象でした。勤務体系も有給取得率約94%とすごく高い割合で、5日間の長期休暇を利用して海外旅行を楽しむことなどもできるそうで、研究職の方も有効に利用されていてストレスフリーな会社だなどと思いました。今回行かせていただいたT I Cは、淀川をのぞむ美しい周辺の景色を広い窓から見ながら仕事ができる所で、誰でも使用できるフリースペースも用意されていてとても開放感のある施設でした。また、至る所に工夫がなされており、エントランスでは”空気”に香りをつけて流していたり、オフィスの上の空調ではデータをとれるようになっていたりしました。私が学んでいる農学分野の内容とは少し違う所の企業ではありましたが、”研究職についての女性”と話をするという、なかなか出来ない貴重な経験が出来、非常に良かったなどと思います。(農学部3年)
- ・自分が思っていた以上に大企業でした。世界で4割のシェアを持つ空調会社と知って驚きました。日本だけでなく世界中でダイキンの空調が使われており、また、それぞれの国で求められる性能も全然違うと知って、それにこたえられる製品を作っており、すごい技術だなどと思いました。また、訪問させてもらったT I Cはとても開放的な空間で働きやすそうだなと思いました。T I Cでは様々な実証実験が行われていて、「空気」というものに様々な可能性があることと知り、とても興味を持ちました。男性が多いイメージでしたが、女性の方もたくさんいて驚きました。女性社員3人の方とお話しして、様々な話を聞いて良かったです。興味を持ったのは海外研修があるということです。私は留学や海外で働くことに興味を持っていたので、働きだしてからそのようなチャンスがあるというところがいいなと思いました。(工学部3年)

## ●花王を見学して感じたこと

- ・院に行かないと研究者としての就職はむずかしい。(農学部2年)
- ・洗剤の性能の向上だけでなく環境に配慮した製品開発に力を入れておられた。研究の面では、見学前に思っていたイメージとは異なり、女性社員でも、男性と同様に研究に携わることができ、移動や部署希望などのチャンスの場も存在していた。(医学部2年)
- ・雰囲気として、とても落ち着いていて、きちっとしている会社だなという印象を受けました。意外と研究よりも工場感が強く、男性社員の方が多く見られました。最初の工場見学では、身近な商品が出来上がる過程を間近で見ることができ、わくわくしていました。工場見学が終わった後の説明では、とても分かりやすく丁寧に教えてくださったので、より興味を持つようになりました。女性社員の方々の質疑応答の時間までは、少し堅い印象があり、緊張していたのですが、女性の方々と男性社員の方が楽しそうに会話しておられて、自然な笑顔も見ることができたので、明るくて雰囲気が良いなと感じました。だから、女性研究員の方が働く、研究室も見てみたいなと思い、興味を持ちました。(医学部2年)
- ・やっぱりイメージ通りすごい大企業だなと思いました。私は化学系学科なので化学に力を入れられている花王さんにやはり魅力を感じてしまいました。その中でも”エコ”に力を入れられているというのを強く感じ、良い商品を作るだけではなく、世界の人々の暮らしについても考えられているのがとても素敵だと思いました。また、女性技術職員の方々は実験を日々楽しんでやられている感じが伝わってきて、理系の人間にとってはとても働きやすそうだし、出産や子育てを支援する制度が備わっていて女性が仕事を楽しく続けられそうだなと思いました。(工学部2年)
- ・消費者と生産者が一体となった環境負荷の軽減を目指している。検査を徹底している。段階ごとに問題を見える化して改善に取り組んでいる。1つの分野だけでなく一見関係なく見える多様な分野に取り組んでいる。研究室で壁をなくして、他の分野の人とのコミュニケーションがとれるようにしていると柔軟な発想や手助けになっているのかなと思った。界面コントロールが主な得意分野だと知った。もし行くのなら、基盤研究のできる和歌山に行ってみたい。人が生き生きしているという点ではダイキンさんの方が魅力的だった。でも、それぞれの仕事に対する思いは2社ともとても真剣に取り組んでいることが伝わった。(工学部1年)
- ・結婚をしたり、子どもを産んだりしても、朝保育園に送ってから出勤できたり、熱がでたら仕事を休んで在宅ワークにできたり、女性にとってとても働きやすい会社だなと感じた。頑張れば、東京で働くチャンスがあったり、女性でも活躍できるのはすごく良いなと感じた。洗剤を作るだけではなくて、環境のことも考えて、ゴミを減らす方法を考えたり、消費者の手に渡った商品のその後のことも考えられているのだなと思った。工場の見学では、ほとんど人がいなくて、ほとんどすべての工程が機械で行われているのだなと驚いた。化学のことをメインにしている会社でも、生物のことを研究されている研究員の方もいて、いろんな分野から研究し、より良い商品を開発しているのだなと感じた。人体や環境の事を考えて研究し、工場の見学のときにかぶったネットもそのまま捨てるのではなくて、再利用できたり、様々な取り組みがあるのだな感じた。(工学部2年)
- ・日本国内だけでなく海外でも活躍している製品が多いということにびっくりしました。ハウスホールド関連以外に化学製品(トナーなど)を扱っていることは知っていましたが、それらは界面化学の延長であるというつながりにもびっくりしました。時代は「環境」とか「食糧危機」などに向き合える人材を求めているのだろうと感じました。社会問題について少しでも触れておくべきで、どの分野でもいい

から詳しく知っている分野を持っていけば強みになるんじゃないか、と思った。工場の広さや機械の感じや製造ラインや生産スピード・量などのスケールが大きすぎてついていけなかったです。大企業で働くためにはそのスケール感への慣れが必要なのだろうと思いました。「修士までは基礎だ」と言われていたのがなぜか心に残りました。あと、生物の分野出身だけでも、今は界面化学が専門だ、と言われていたのを聞いて、学びつづけることのできる職業っていいなという憧れが強まりました。企業のルーツを知ることは大変興味深い事だと思いました。発想の転換にいつも感心します。花王はもともと戦闘機の潤滑油の軍需工場であったので、油脂の研究を活かし界面化学の業界に参入した、という話が面白かったです。加工プロセスの分野では女性が活躍しているという話も印象に残りました。エコについて考えるときに、”製品のライフサイクルを段階に分けて考えていく”という方法をとっていたが、そのような「開発の方針」を考えてるのは誰なのだろうか、と疑問に思いました。化学屋さんだけでなく、環境問題に強い分野の人が活躍しているのかなと想像していますが、こんな感じで、他分野にとびこんでも活躍できるパターンもおおいにあるのではないかと勝手に思ったりもしました。(工学部2年)

- B to Bの商品も出していることは知らなかった。環境問題やITを意識した研究をしていることを知って、さらに花王の製品に魅力を感じた。(農学部3年)
- 工場の見学などを通して花王の製品が出来る過程を知れたことはとても良かった。花王はエコを強調していたため、エコに力を入れていることが分かった。自分の知らない分野でも花王で作られたものが使用されていると知れたので、良い見学ができたと思った。あまり、話を聞く時間は無かったが、実際に働いている人を通じて会社の雰囲気も分かった。見学前に抱いていたイメージと働いている人の雰囲気はあまり変わらなかったが、製造品や研究のことなど新たに知れたことが多くあった。(工学部1年)
- 1つ目にとっても環境に配慮している企業だということに驚きました。大企業ということもあり利益がとてつもなく大きいイメージだったので、ここまで考えられた商品作りをしているというところに好感をもちました。エネルギー消費の大きいとされている”使う・捨てる”という場面に特に注目し、消費者と共に地球を守ろうとしておられるとのことでした。2つ目に女性の研究者のなかで2児の母の方がいて、その方の話から知ったのですが、フレックスタイム制や週2日は在宅勤務ができる制度や勤務地が変更できる機会も与えられていることなど女性に嬉しい制度が多く取り入れられているとのことでした。女性でも活躍しやすい環境が整っている企業を就職の際には選ぼうと思いました。(工学部2年)
- 工場の中はほぼ機械で、働く人は少なかった。エコのことをとてもよく考えられていた。女性研究員の方々が、自分の研究を楽しんでいて、とてもかっこよかった。ああいう人になりたいと思った。(工学部2年)
- イメージしていたよりも広い敷地で、会社内をバスを使って移動するのにとても驚いた。たくさんのパイプが敷地内をめぐっていてダイキンよりも工場という感じが強かった。工場内ではたくさんの機械が働いていて、不具合があるとランプが光って人がくるというシステムだった。工場内はとっても広くランプが見えるのか不思議だったしすぐにつけられるのかなと思っていたが、ランプが光ってすぐに2人の作業員が直しに来たので、一体どこから2人は出てきたんだろうともっと不思議に思ったミュージアムの中ではいかに花王が省エネ、エコに対して取り組んでいるのかがよくわかった。特につめ替え用を使ったときと容器を新しく買いつづけたときの体積比を見るコーナーではとても衝撃を受

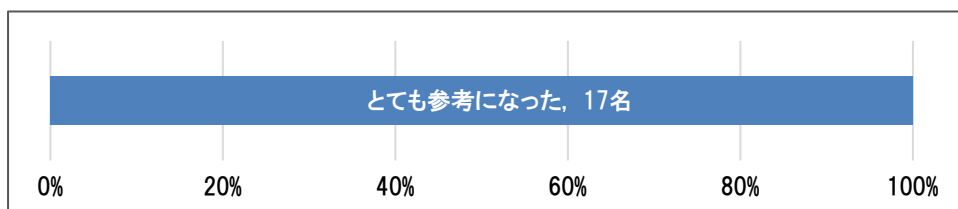
けた。質疑応答では子供が2人もいるように見えない若い女性がふつうに働いていて驚いた。女性なのにドクターまで行くという選択肢もあるのだとわかった。また、花王は学部卒がほとんどいないことも知って、またやっぱり院には行こうかな、とゆらいだ。研究職は実験室などにこもっていて実際に商品を使った人の声は届きにくそうなイメージがあるが、声はきちんと届いてそれがやりがいになったりするのか、どうやって声は届くのか疑問に思った。(聞けばよかった)(工学部2年)

- 工場見学させてもらって、工場内にはほとんど人がいなかったり、配管がたくさんあり、地中にも配管がありそれを使って原料を運んでいてすごいなって思いました。花王が行っているエコロジーについて教えてもらい、商品を作る過程での排気ガスがとても少なく、さらにお客さんが花王商品を使う場合の水の量だったりをできる限り削減できるような商品を研究開発されていてすごいなと思いました。女性研究員の方のお話で、子どもができてフレックスタイム制などで働きやすいなど、とてもよい話がきけました。(工学部2年)
- 思っていた通り大きい会社で、大量生産を可能にする生産ラインがあり、大手の会社のすごさを感じた。あまり知らなかったがエコへの取り組みをかなり重視していることがわかった。特に製品の形などにこだわることで自分たちの手を離れ消費者の元へ行った製品のことまでも考えてあり、企業の地球環境に対する意識の強さを感じた。その他にもヤシの実などが食糧として必要とされる時代のことまで考え藻類の研究をしていることなど、大きい企業は先のことを見すえて、他の所よりも早く多くのことをやっているから大きな企業になるんだなと感じる取り組みがあった。他にも柔軟な勤務時間や在宅勤務など女性の働きやすい環境づくりに力を入れていることがわかった。社員の方々の話から自社製品に対する誇りやさらによいものをつくらうと思う気持ちが伝わってきて、働く方々のモチベーションの高い会社だと感じた。(農学部3年)
- 洗剤をつくっているため、低分子の有機合成を行っているのは思っていた通りだったが、原料を、ヤシの種の油から藻類へと変換していく取り組みなどから微生物に力を入れているように感じた。また、大学院卒業以上の人が多いことから、現在の研究テーマとも少し違うような感じもしました。また、質問などに対して、あまり個人的には聞けず、聞きづらいとも思いました。子育てをしながら働いている人もいましたが会社の何割ぐらいがそのような対応をとってくれるのかも少し疑問に思いました。(工学部4年)
- エコラボミュージアムなどがある、広い工場では、見学用のバスがあったり、ガイドさんや館長さんのような方からの説明など、一般の人にも工場をみてもらう取り組みをしているようだった。工場見学は、一般の人や子どもたちにとっても、楽しく、企業の工夫が見られるようになっていて感じた。ミュージアムの中では、花王の成長や、エコへの取り組みが強く感じられるものだった。また説明の中では、花王は日用品や化粧品だけでなく、工業的に利用する材料や潤滑油なども多く作られているということが分かった。また、メーカーとしての製品の製造・開発だけでなく、材料合成の研究が行われているということを知った。花王のような大規模な研究所を持つ場所でも新材料合成など大学の研究のようなことも行っているというのは驚いた。それから、女性社員さんへの質問から、花王では女性が働きやすくなる工夫として、フレックスタイム制や時短制度をとり入れているということが分かり、このような大企業の研究所でも女性などの働きやすさの配慮がよくなされているのが分かった。また、よく頑張っただけで成果を出せば、東京勤務など希望が通るといえるのは、やる気をうながすポイントになっていると思った。実際に労働者目線でのこの企業については、少ししかうかがえなかったのもっとよく知り

たかった。(工学部4年)

- ・洗剤だけでなく日用品や化粧品、土木関連の事業まで行っているとは知らず、企業について深く知ることができたと思う。身の周りのことだけでなく地球温暖化にも考慮した取り組みを行っており、研究職だけでなくオフィスで働く方はどのような仕事をしているのかも気になった。(農学部3年)
- ・自身が興味を持っている分野についてのお話は伺えなかったですが、“女性”が活発に働ける職場であることが分かりました。非常に大きな工場で、日頃よく目にしている製品が作られている様子を見ることができ、すごく楽しい見学でした。環境への配慮をすごく心がけてある企業さんだなと感じました。この見学で一番おどろいたのは、花王さんがB to Cだけでなく、B to Bも行っている企業だったことです。B to BとB to Cを行えるだけの、技術力を持っているすばらしい会社なんだなと思いました。女性研究員の方のお話を聞いていて思ったことは、やはり研究を職にするには院卒の資格が必要な職だなという事です。今後の進路選択・企業選択に役立てたいと思います。(農学部3年)
- ・私は化学の勉強をしているので、花王にとっても興味がありました。初めに工場の見学をさせてもらいました。インターンシップでも化学系の企業に行き、工場を見学させてもらいましたが、花王の工場はとて大きくてさすが大企業だなと思いました。工場の中でも様々な工夫がされていて、とてもおもしろかったです。エコラボミュージアムの見学では、エコのために花王は様々な研究をしていることを知りました。ゴミを減らすためにつめかえ用のものをたくさん作ったり、つめかえが簡単になるように工夫がされていて今まで自分が気付かなかった所も教えてもらえて良かったです。また、運送の際のダンボール削減や消費者も一緒になって行うすすぎ1回によるエコ活動など、私達も協力しないといけないことがたくさんあり、注意していこうと思いました。女性研究者の人に直接質問する機会もあってとても良かったです。また、女性にとって働きやすい環境だと言っていたので、とても興味がわきました。(工学部3年)

## ●見学会の感想



<そう思った理由>

- ・自分の就職したい 企業の理想が明確になった。
- ・女性社員の様々な(生活面・苦勞・やりがい…など)ことを、直に話を聞くことができたため。また就活についての大切にしている点、時期なども聞くことができ、モチベーションを上げることができたため。
- ・最初のイメージは、医学部とはあまり縁のない企業かなというものでしたが、話を聞いていると、結構関わる分野があったため、途中から、より関心を持ちました。さらに、今まで私が考えていたことのうち、結構間違っていることがあり、勝手な解釈だったのか、と気づくことができたからです。
- ・初めて企業を知るきっかけになったから。
- ・実際の雰囲気、その会社が特に何を重視しているかなどを知ることができたから。
- ・企業というものがどういうものなのか、女性の方はどのように働いているのかを実際に見たり、聞いたりできて、すごく参考になった。

- ・地元を離れて都市部にある大企業に就職することに憧れはあるものの抵抗があり、地元で公務員になるなど妥協案ばかり考えていたのですが、今回の見学でいきいきと仕事をされている方のお話を聞いたり、働きやすい環境を見たり聞いたりすることで、憧れが強くなり、そういう選択肢も考えることができるようになりました。理想を高く持って頑張ろう、と思えるようになりました。
- ・実際に働いている女性のお話を聞く機会ができてとても良かった。
- ・自分があまり知らない会社でも身近にあるものを作っていたり、有名企業だからといって良いというわけではないと知ることができた。
- ・実際に企業で働く女性がプライベートを充実させながら、また家庭や育児と両立させながらいきいきと活躍している姿を見てとてもモチベーションにつながったからです。また女性が働きやすい制度があると知れたので、そういった企業を選びたいと感じました。
- ・軽い気持ちで参加したが、実際に働く女性研究員の方々の話を直接聞いて、自分が将来どうなりたいか、どう働きたいかのイメージがなんとなく浮かんだから。
- ・実際に会社に入らせてもらえるだけでなく、実際にそこで働いている人の意見が直接聞ける機会なんてそうそう無いから。また、女性に限った企画なので人生のキャリアデザインについて、参考になるから。
- ・院に行く予定はなかったのですが、企業に就職なんて考えてなかったけど、すこし考えてみようかなっていうきっかけになりました。
- ・工業系の会社だと思っているような会社でもその他のことをやっているなど実際に行ってみなければわからないことが多くあるとわかり、企業見学会など積極的に参加したいと思えるきっかけになったから。
- ・イメージと見学に行ってから印象が大きく変わったため今回参加してとても良かったと思いました。実際、就活が始まる時では遅いような感じがしたので、機会がある内に行ってみようと思った。
- ・実際に企業に行ってみることでしか感じられない会社の雰囲気や、働く人の様子がよく分かり、仕事へのイメージが湧きやすくなった。また、1つの企業でも各部署の人の話が聞けたので、職種分析につながった。それから、ダイキン工業の若手社員さんとの話で就活についても話を聞くことができ、これからの参考になったし、モチベーションにつながったから。
- ・女性が働く上でどのような問題があるか（産休・育休など）を改めて身近なものとして考えることができたし、女性が働きやすい企業のお話を聞くことで今後の就職活動の参考にすることができると思った。
- ・自分の興味がある分野の企業に訪問することが出来たため非常にためになった。
- ・女性研究者の方々に直接話をきく機会はあまりないから。大学主催ということで安心して参加できたから。



## ○ライフプランセミナー

女性の大きなライフイベントである妊娠や出産について、妊娠・出産には適齢期があり、適齢期を過ぎると妊娠しづらくなる（不妊）ことを知り、大学院進学や就職などをふくめた人生のキャリア形成を考えることを目的として、鳥取県東部不妊専門相談センターの橋本看護師と、ダイバーシティキャンパス推進室の長谷コーディネーターが講師を務め、12月11日に開催。3名の学生が参加。

### 案内チラシ

ライフプランセミナー

# キャリアプランを考えよう

キャリアプランを考える必要性  
ライフイベントとは？  
妊活って？  
仕事との両立は？  
ダブルケアとは？

終了後  
個別相談も  
受け付けます

**日時** 12月11日(水) 16:30~17:30

**会場** 広報センター スペースD  
※少人数セミナー方式にて実施。参加者多数の場合は会場変更予定。

**講師** 鳥取県東部不妊相談センター  
不妊症看護認定看護師 橋本万住子  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
コーディネーター・キャリアコンサルタント 長谷 順子

**対象** 本学の学生・大学院生

主催・お問い合わせ先：  
ダイバーシティキャンパス推進室  
TEL 0857-31-5768  
MAIL: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp  
http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/

地域学部棟4階



## ライフプランセミナーを開催しました！

12月11日(水)に、学生を対象としたライフプランセミナー『キャリアを考えよう』を開催しました。

鳥取県東部不妊専門相談センターの橋本看護師と、キャリアコンサルタントである長谷コーディネーターが講師を務めました。

セミナーでは、妊活をテーマにしたドラマ「隣の芝生は青く見える」を紹介し、なぜ主人公の夫婦は子どもがなかなか授からなかったのかを考えてもらうことからスタート。妊娠には適齢期があること、不妊には女性だけではなく男性にもあること、また、企業勤務35歳の架空の女性を設定し、なぜ妊娠・出産が高齢化するのかを考えました。

受講した学生は「誤った知識を修正できた」「キャリアプランに興味がありました。今後就職活動で基準の一つにしていきたい」「知らなかった、考えなかったからという理由で幸せを逃したくないと思った」と受講して良かったと回答。セミナー終了後も、質問がつづき、学生は満足そうでした。



## 〇グループインタビューへの参加

鳥取市の家電製品製造会社（気高電機株式会社）より、商品・サービスのコンセプト立案のため、単身で生活をしている学生へのグループインタビューをしたいとの要望があり、企業の事業活動に触れる経験を得られることから、女子学生へのキャリア支援の一環として協力した。

3月10日(火)の14時から1時間、コミュニティ・デザイン・ラボにて、学部4年生を中心に4名の女子学生が参加、企業担当者の質問に答え、企業がどのように商品を開発していくのか一端を知ることができた。



#### (4) 多様な構成員の共生環境づくり

##### ○ダイバーシティセミナー（FD研修）

教職員を主な対象とし、早稲田大学での取り組みをもとに、性的マイノリティの学生に対する配慮、支援などについて学ぶことを目的として、6月28日に早稲田大学GSセンターの大賀一樹氏をお迎えし開催した。

本セミナーはFD研修と位置づけ、あわせて男女共同参画週間（6月23日～29日）に関するイベントとした。参加者は32名。

案内チラシ

男女共同参画週間関連イベント

## FD研修 ダイバーシティセミナー

多様な個性・価値観を尊重し、お互いの人間性を高めること。  
一人一人の生きづらさを解消し、偏見や差別、ハラスメントの無いキャンパスへ。  
早稲田大学での取り組みをもとに、性的マイノリティの学生に対する配慮、支援などについて学びます。

**日時** 2019年 6月28日 金 16:30-18:00

広報センター スペースC  
※米子会場：第二中央診療棟2階 キャンサーボード LAN中継

**講演** 「LGBTQの学生への支援と対応について」  
講師：大賀 一樹 氏  
早稲田大学GSセンター 専門職員  
公認心理師/臨床心理士  
東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー

主催・お問い合わせ  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
TEL 0857-31-5769  
MAIL danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

～「男女共同参画週間」とは、男女共同参画社会基本法の目的及び社会理念に関する理解を深めるために制定されたものです～

ダイバーシティセミナー

『LGBTQの学生に対する配慮、支援について』を開催しました

6月28日(金)に、早稲田大学GSセンターの大賀一樹氏をお迎えし、ダイバーシティセミナー『LGBTQの学生に対する配慮、支援について』を開催しました。

大賀一樹氏は、NPO法人共生社会をつくるセクシャルマイノリティ支援全国ネットワークの理事であり、臨床心理士として、東京都の公立学校スクールカウンセラー、早稲田大学においては、国内初のセクシャルマイノリティ学生支援の部署であるGSセンターに専門職員として従事しながら、ジェンダー平等社会の実現を目指して幅広く活躍しているようです。

セミナーは、大賀氏自身のセクシュアリティについてや、早稲田大学でどのようにしてGSセンターが設立されることになったのか、GSセンターではどのようなことを行っているのか、また、GSセンターでLGBTQの学生からどのような相談があるのかなど、本学で今後支援をすすめていく上で、大変参考となることをお話いただきました。

受講者からは、「他大学の組織化された先進的なとりくみについて学ぶことができ良かった」との感想があった一方、「学生から相談がないから(LGBTQの学生は)いない」という意見をよく聞くが、そうではないことをしっかり皆が認識する必要がある」「教職員の出席者数が少ない。教職員の意識が低いからだと思う。今後のためにも意識を高めるような工夫が必要。」との意見が寄せられました。





## ○コミュニケーションセミナー

教職員相互の活発なコミュニケーションにより、働きやすい職場環境の実現をはかること、学生との円滑なコミュニケーションをはかることを目的として、本学医学部の竹田准教授に、心理学の観点からコミュニケーションを円滑にするポイントについてお話しいただいた。12月17日に開催、23名が参加した。

案内チラシ


### コミュニケーションセミナー

## 自分も相手も大切にする コミュニケーション術 ～童心に帰って自他尊重を考えよう～

相手の行動や態度が気に障ると、ついそれを自分のフィルターで見えてしまい相手を否定的に評価してしまいがちです。多様性を認め、お互いの個性を尊重しながら共存するために、「自他尊重の心」について考えましょう。

令和元年**12月17日(火)** 16:00～17:15

**場所** 広報センター スペースC  
※米子地区への中継はありません。



**講師:**  
竹田 伸也 准教授  
大学院医学系研究科臨床心理学専攻

---

医学博士。日本老年精神医学会上級専門心理士。  
日本認知・行動療法学会専門行動療法士。  
日本老年精神医学会評議員。  
日本認知症予防学会代議員。

主催・お問い合わせ  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
TEL 0857-31-5769  
MAIL [diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

## コミュニケーションセミナーを開催しました！

12月17日(火)に、大学院医学系研究科の竹田伸也准教授をお迎えし、コミュニケーションセミナー『自分も相手も大切にできるコミュニケーション術～童心に帰って自己尊重を考えよう～』を開催しました。

セミナーは、小学生と中学生を対象に実際に行われているアサーション授業プログラムを受講者が体験、まさに童心に帰り、価値観の異なる人同士が、互いに尊重しあってコミュニケーションする「自己尊重の心」について考えました。私たちは、相手の行動や態度が気に障ると、ついそれを自分のフィルターで見てしまい、相手を否定的に評価してしまいがちです。そうしたとき「その行動や態度の裏には、何か事情があるのかも」と思いを馳せることで、他人だけでなく自分にもやさしくなれるとの竹田先生のメッセージに共感しました。

受講者からは、「対応事例が多く、わかり易かった。」「小学生向けの教材ということで、客観的に見ることができ、いろいろと考えることができた。」「コミュニケーションの重要性、言葉えらび、相手の気持ちを考える事の大切さを再認識出来た。」との感想が寄せられ、あらためてコミュニケーションの重要性を認識したセミナーとなりました。



## ○学生スタッフ

意見交換し、みんなでキャンパスを変えていこうとする機運を高めることを目的とし、性別、年齢、学年、国籍を不問とした学生スタッフを募集。残念ながら本年度は応募学生がいなかったが、来年度も引き続き募集し、活動ができるよう環境を整えたい。

案内チラシ

●多様な生き方を尊重しよう  
●ともに学ぶために

●偏見・差別・ハラスメントをなくそう  
●能力を発揮するために

みんなで  
考えよう

**学生スタッフ募集!!**

月に1回程度、昼休憩時にキャンパスを語ろう!!  
性別・年齢・国籍・・・不問

申込み、お問い合わせは  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp  
0857-31-5769





## (5) その他

### ○新HPの開設

ダイバーシティキャンパス推進室への名称変更を機に、新HPを大学正規HP下に移転、開設。外部サーバー使用時の費用削減を図った。

The screenshot displays the website for the Diversity Campus Advancement Room at Tottori University. The header includes the university logo and navigation links for English, color change, font size, site map, and access. A search bar is also present. The main navigation menu lists categories for incoming students, current students, graduates, companies, and general public, with sub-links for university introduction, education/research, departments, and affiliated facilities. The breadcrumb trail indicates the current page is under 'Home > Affiliated Facilities > Other Facilities > Diversity Campus Advancement Room'. The page title is 'ダイバーシティキャンパス推進室'. The main content area features a banner with colorful paper figures and the text: '多様な個性・価値観を尊重し、偏見、差別及びハラスメントのないキャンパス作りを目指します'. Below the banner are four service boxes: '研究者支援', 'ライフイベント支援', '女子学生へのキャリア支援', and '多様な構成員の共生環境づくり'. A sidebar on the left contains 'Affiliated Institutes' and a list of links for the Diversity Campus Advancement Room, including 'トップページ', 'ごあいさつ', '当室について', '活動実績', '相談窓口', 'ニュースレター', and 'アクセス'. There is also a '支援' (Support) section with links for '研究者支援', 'ライフイベント支援', '女子学生へのキャリア支援', and '多様な構成員の共生環境づくり'. At the bottom, there is an 'お知らせ' (Notice) section.

## 〇パンフレット作成

ダイバーシティキャンパス推進室の活動方針、活動内容を紹介するパンフレットを作成。今後新入職員研修等で配布。

### 室長挨拶 Message

生きがいのある人生とは、自分に与えられた能力を磨いて、世のため人のために役立たせていくことにあると思います。またそれぞれの家族や友人を大切に、共に支え合い心を育み、それを地域に広げていくことが明るい社会をつくる基本であると思います。

これを私たちの働き、学びの場である鳥取大学で実現していくために、平成23年に男女共同参画推進室を設置し、世のため人のために頑張ろうと志す人の気持ちをくわしくとなく、前向きに進んで行こうとする人を応援する職場・勉学環境の形成を目指し活動を行ってきました。

社会の多様化、グローバル化がますます進み、このような理念を実現するための活動の幅は男女共同参画の枠を超えるものとなってきました。そこでこれまでの男女共同参画推進室の活動成果を受け継ぎ、多様な個性や価値観を尊重し、偏見や差別、ハラスメントのない、みんなが生き生きと自分の力を発揮し、能力を磨き、創造的で充実した人生を送れるキャンパスをつくることを目指してダイバーシティキャンパス推進室を設置しました。

鳥取大学は「人間力」を基本にしています。構成員それぞれが人として成長できる、明るく楽しくかつ規律ある大学を目指して、みんなで一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



鳥取大学  
ダイバーシティキャンパス推進室長  
細井 由彦

### 相談窓口 Consultation desk

ダイバーシティキャンパス推進室では、鳥取キャンパスダイバーシティキャンパス推進室内に【体験室＆相談室】を設置しています。

【体験室】は、勤務中の体調不良や妊娠・産後等で自分のすぐれない方のほか、育児の難しさなどご利用いただけます。また【相談室】として、研究活動や仕事と、育児や介護などライフイベントと両立をする上での不安や悩み、性別平等・性的指向など性的マイノリティに関し相談できる場としております。

【場 所】ダイバーシティキャンパス推進室  
（地域学館棟4階）西

【利用対象】 本学の教職員、学生のみならず  
【利用時間】 月曜日～金曜日（予定）9時～18時  
（空室が不妊時はご利用できません）

※相談を希望される方は、事前にメールでご連絡ください。  
相談は男性教職員の方も対応しています。

## ダイバーシティ キャンパス推進室 のご案内

「多様な個性・価値観を尊重し、  
偏見、差別及びハラスメントのない  
キャンパス作りを目指します」



### アクセス Access



鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
〒680-8350 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地  
Tel : 0857-31-5769 Fax : 0857-31-5797  
Mail : diversity@mladm.tottori-u.ac.jp  
https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm

### 当室について About our room

少子高齢化を迎えた日本社会が、その活性を維持しつつ、より豊かな社会へと変化するためには、広汎なダイバーシティ(多様性)を受け入れる社会、すなわち性別、年齢、障がいの有無など多様な人たちの生き方を尊重し、必要な時期に必要な支援を行うことにより、その能力を最大限に発揮できる社会を実現することが課題となります。

ダイバーシティキャンパス推進室では、性別、性自認・性的指向、障がいおよび様々な困り及環境のもとでの生まれ及び育ちなど多様な個性・価値観を尊重し、偏見、差別及びハラスメントのないキャンパス作りを目指しています。

### 推進体制 Promotion system

**学 長**

**ダイバーシティキャンパス推進委員会**  
学長・理事(ダイバーシティ推進担当)  
学部長・附属病院長・  
ダイバーシティキャンパス推進専任コーディネーター

**ダイバーシティキャンパス推進室**  
室長：理事(ダイバーシティ推進担当)  
室員：専任コーディネーター 1名  
併任教員 9名

他の  
学内組織

行政、各種団体、他大学  
研究機関、企業 等

### 支援内容 Support



— 研究活動支援 —

出産、育児および介護など、ライフイベントにより研究活動を行う時間の確保が困難な研究者に研究支援員を配置することで、研究者のキャリアの形成および継続を支援します。



— ライフイベント支援 —

結婚・出産・育児期・育児休暇・病児・病後児保育・男性の子育て等、育児にまつわる支援制度や、家族を介護する場合などに受けられる支援をご紹介します。



— 女子学生へのキャリア支援 —

研究・開発、あるいは科学技術関連分野で働いている先輩たちはどんな日々を送っているのでしょうか。産前・産後休暇や育児休業を経て職場に復帰した先輩たちは、何に悩み、何に生きがいを感じているのでしょうか。女性研究者が働く研究機関を見学し、働く女性と直接話してみませんか。新しい選択肢が見つかるかもしれません。



— 多様な構成員の共生環境づくり —

性別や性自認・性的指向、障がいおよび様々な困り及環境のもとでの生まれや育ちなど多様な個性・価値観を尊重し、お互いの人間性を高めることで、一人一人の生きづらさを解消し偏見や差別、ハラスメントのないキャンパスづくりを目指します。

### DVD & 書籍の貸し出し

ダイバーシティキャンパス推進室に【テレビ&DVD プレイヤー】を設置しています。ハラスメント、産休、育児、LGBT等に関するDVDを室内で視聴できます。また、育児、介護、ワークライフバランス、LGBT等に関する書籍を貸し出ししておりますのでご利用ください。

※米子地区の医学部付属病院には、働きやすい職場環境の整備を目指しワークライフバランス支援センターを設置しています



ワークライフバランス  
支援センターHP



## ○教育用リーフレットの作成

「LGBT等に関する鳥取大学の基本理念と対応について（教職員向け）」を作成。新入職員研修など、教育用として新年度より活用予定。

### LGBT等に関する鳥取大学の 基本理念と対応について（教職員向け）

— 試行版 —

---

#### ダイバーシティキャンパス基本理念

多様な個性や価値観をもつ人々が集い交流し、新しい価値を創造していくことは、知の拠点たる大学の力の源泉です。

鳥取大学は、『鳥取大学憲章』において、「様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて、多様な文化や考え方を理解し、少数者や弱い立場下におかれている人々に対する思いやりの心をもち、社会に対する責任を果たすことと行動の規範とする」としています。これをキャンパスにおいて体現することが本学におけるダイバーシティ理念の実現であると考えます。本学の全ての構成員が、人権を尊重しながら、ともに学び、貢献、多様性を力としていくことにより、大学の教育研究活動を高め、地域社会や世界に貢献していきます。

---

#### 活動方針

性別や性自認、性的指向、障がい、様々な国籍や環境のもとでの生まれや育ちなどによる、多様な個性・価値観を尊重し、お互いの人間性を高めることで、一人一人の生きづらさを解消し、偏見や差別、ハラスメントの無いキャンパスづくりを目指します。

すべての構成員がこの理念と活動方針を理解し、実践することで、自分ならではの力が発揮される創造的なキャンパス環境の実現を目指します。

### 相談窓口

名称	相談内容	対応者	相談先
ダイバーシティキャンパス推進室 (地学学館4階)	ジェンダー・セクシュアリティに関すること ワーク・ライフ・バランスに関すること	教職員 学生	月～金(平日) 9:00-16:00 0857-31-5759 diversity@u-bi.ac.jp
学生支援センター (鳥取キャンパス共通教育A棟2階) (米子キャンパス学生支援学生係)	学生相談に関する全て	学生	鳥取キャンパス 月～金(平日) 8:30-17:15 0857-31-5794 u-support@u-bi.ac.jp 米子キャンパス 月～金(平日) 8:30-17:00 0859-38-7100
保健管理センター 保健管理センター米子分室 (アレスコ棟1階)	心身の健康や悩みに関する相談	教職員 学生	鳥取キャンパス 月～金(平日) 8:30-17:00 0857-31-5066 health@u-bi.ac.jp 米子キャンパス 月～金(平日) 9:00-17:00 0859-38-6495
ハラスメント相談員	ハラスメントに関すること	教職員 学生	相談受付担当窓口 0857-31-5012 harassment@u-bi.ac.jp

**オールジェンダートイレについて**

鳥取キャンパスの広報センター1階と、附属図書館にオールジェンダートイレを設置しています。

この他に多目的トイレ、鳥取キャンパスに24分室、米子キャンパスに5分室、学部18分室、浜坂キャンパスに2分室設置しています。

**LGBT等に関するDVDと書籍貸し出し**

LGBT等に関するDVDの視聴や、DVD・書籍の貸し出しがダイバーシティキャンパス推進室で行っていますのでご利用ください。

鳥取大学  
鳥取市南町2丁目  
2017年4月  
ダイバーシティキャンパス推進室

### 用語の説明

#### LGBTとは

LGBTとは、Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)の略称として用いられることが多い。性別が多数(セクシュアリティ)を多数言葉の一つとして使われることもある。その他の性的指向や性自認をも含む総称として「LGBT等」を使用している。

#### 性的指向とは

性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということ。

- Lesbian(レズビアン)  
女性の同性愛者  
(心の性が女性で、恋愛対象も女性)
- Gay(ゲイ)  
男性の同性愛者  
(心の性が男性で、恋愛対象も男性)
- Bisexual(バイセクシュアル)  
両性愛者  
(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)

#### 性自認とは

性自認(性の自己認識)とは、自分の性自認のよう認識しているか、ということ。心の性と書かれることもあります。多くの人は「身体の性」と「心の性」が一致していますが「身体の性」と「心の性」が一致せず、自分の身体に違和感を持つ人々もいます。

- Transgender(トランスジェンダー)  
「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。「心の性」によって生きたいと望む人も多く見られます。(性別同一性障害、性別違和、医学的な診断名であり、トランスジェンダー=性別同一性障害、性別違和ではありません。)

#### カミングアウトとは

自分がLGBTであることを告白することです。カミングアウトは、自分のセクシュアリティを受け入れ、肯定する過程でもあり、自分らしく生きていくための手段です。

しかし、カミングアウトするかどうか、いつ、誰に、どのように伝えるかは、当事者本人が決めることであり、周囲の人が、カミングアウトを強要してはいけません。

参照：法務省HP

### 配慮・対応について

#### ①本学にも当事者がいることを常に忘れずに対応する

電通ダイバーシティラボが発出した「LGBT調査2016」によると、LGBTに該当する人は8.8%との調査結果が出ており、11人に1人は該当者がいることとなります。知らないから「うらやましい」と考えるのではなく、「必ずいる」と認識して対応してください。

- 「まさか、ここにいないか」と思いますがどのような、当事者がいないことを前提とした話し方をしない。
- 「男性はA、女性はB」など性別によるグループ分けに気を付ける。

#### ②見た目や氏名で性別を決めつけない

見た目や振る舞いが中性的であることから、「男だろ、男らしくしろ」とか、「女性なんだからお化粧しろしろしろ」など、見た目(服装、髪型、お化粧など)や氏名で、性別を決めつけた言動をしないでおく。

- 「オネエ」「ホモ」「レズ」「オトコオンナ」「アツチ系」「ソッチ系」などと発言し、笑いにするようなことをしない。
- せびなどの合言葉で男女で部活動をする前に本人が希望を伝えることができるような配慮をする。
- 授業などにおいて、学履簿の名前や性別と、見目が違うことを他学生の前で言及しない。

#### ③呼び方は共通の敬称を用いる

見た目や氏名(戸籍)で、呼び分けせず共通の敬称を用いる。あるいは本人の希望にそった敬称を用いるように心がけてください。本人がどう呼ばれたいかを確認する際には、目の前で聞くのではなく、メール等個別に对应する配慮をお願いします。

- 名前が男性のように思えたからといって、「くん」付けで呼ばれたい学生がいることを認識しておく。

#### ④学生より相談を受けたら、勝手に他者に口外しない

学生よりカミングアウトされた場合、当事者の許可なく親したり、公の場で話して扱うことなどを行うと、当事者を差別しやすくなる可能性がある。プライバシー保護の観点から、対応について相談する場合は、必ず当事者の了解を得たうえで行ってください。

- 学生より当事者であることを相談されても、当事者に無断で対応についての他教員に相談しない。
- 学生への対応を相談するため、学生支援センター等の相談窓口と話をする場合には、当事者の許可を得た上で行う。

## ○オールジェンダートイレの設置

平成28年度より、ダイバーシティセミナーとしてLGBTの理解を深めるセミナーを開催する中で、参加者よりトイレに関する要望があったことから、このたび性別を含めたバリアフリートイレとして鳥取キャンパス内に2カ所、表記、設置した。

### HP掲載

#### オールジェンダートイレを設置しました

このたび、広報センター1階多目的トイレと、附属図書館1階多目的トイレを誰でも利用できるオールジェンダートイレと致しました。

ダイバーシティキャンパス推進室では、平成28年度（旧男女共同参画推進室）よりダイバーシティセミナーとしてLGBTの理解を深めるセミナーを毎年開催する中で、参加者より「性別を区別しないトイレ（全個室）が欲しい」「トイレなど改善点があるように思う」「認知を広げる努力、ハード面の配慮等取り組みは急務」などのご意見をいただきました。

本学では、多目的トイレを各棟に設置しており、どなたでも利用できると周知しておりましたが、今回設置した2カ所のトイレは、車椅子のまま利用できるだけでなく、オストメイトや、ベビーチェア（附属図書館）・ベビーシート（広報センター）、フィッティングボード（附属図書館）、介助用ベッド（附属図書館）なども備えており、性別を含めたバリアフリートイレとして表記、設置することとしました。

今後状況を見ながら、学内の多目的トイレについて、表記を変更することを検討します。

広報センタートイレ



広報センタートイレ



※ベビーシートは利用時以外壁に固定

附属図書館トイレ



附属図書館トイレ



## ○休憩室&相談室

男女教員の育児休職に関する相談や、勤務時間に関する相談など、延べ19件の利用と3冊の書籍の貸し出しを行った。



# 8. ニュースレター

鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室便り 令和元年6月5日

## Pear Pair 通信 第29号

**お知らせー推進室の名称が変わりましたー**

男女共同参画推進室は、本年4月に、性別という観点だけではなく、性自認・性的指向、障がい・障害や国籍の観点でもっと多様な学生などによる、多様な個性・価値観を尊重し、偏見・差別及びハラーストのないキャンパスづくりを目指して、ダイバーシティキャンパス推進室に名称を変更しました。

推進室が本学の全学職員それぞれが居心地のよい環境となるよう活動を行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

**この号の内容**

- お知らせ
- 活動報告①
- 活動報告②
- この号の編集者
- 今号の予定

〒680-8550 鳥取県鳥取市 鳥取大学ダイバーシティセンター

---

**活動報告①ー第1回推進室ミーティングを開催しましたー**

4月19日(金)、本年度第1回目のダイバーシティキャンパス推進室ミーティングを開催しました。副推進室よりダイバーシティキャンパス推進室の活動方針について、長谷川コーディネーターより中間計画について説明し、承認されました。年間計画にたいし、事業をすすめてまいります。

地域学部	准教授	市 千鶴乃
医学部	教授	添田 美香
工学部	准教授	野上 敏村
農学部	教授	竹内 雅雄
医学部附属病院	教授	内田 伸恵
地域連携推進センター	准教授	矢 澤
教育支援・国際交流推進機構	助教	渡辺 穂子
地域学部	准教授	藤津 秀樹
学生支援センター	准教授	井上 菜穂
ダイバーシティ推進室	コーディネーター	長谷 順子

推進室の活動をお手伝いします！

**活動報告②ー地域学部で講演を行いましたー**

地域学部地域創造コース1年生の『大学入門ゼミ』の第3回講義「ハラーストとダイバーシティ」にて、コーディネーターがダイバーシティキャンパス推進室の紹介、設置目的や活動について説明しました。

男女共同参画推進、寛容・介助・非難、女性活躍推進などの課題を背景として男女共同参画推進室が設置され、性別にかかわらず多様な価値観を持つ人材の輩出を推進できるような活動を行ってきたが、性別だけでなく、多様な個性や価値観を尊重し、一人一人が能力を発揮できる環境づくりを目指したため、本年4月に、ダイバーシティキャンパス推進室と名称を改めたことや活動内容を紹介しました。

受講した感想として「人々の個性を尊重したり、傷つけない環境を創る人はあてはまらないと思う。どの人も大切に生活しているために、多様な生を尊重し、個性、能力がうまく発揮できるような空間をつくっていくことが必要だと感じた」とある学生は答えていました。

**★室員紹介 深田 美香さん 医学部保健学科 教授**

4月からダイバーシティキャンパス推進室副推進室を担っております。学生や教職員、一人ひとりが大切にされ、いきいきと過ごせるキャンパスづくりをめざします(副)。

専門は基礎看護学です。看護ケア方法、看護学、看護学教育のキャリア発達に関する研究を行っています。

我が家のモットーは「できる人ができることをやろう」です。子どもも大人も、共に喜び、共に成長することを大切に「ありがと」と思えることで幸せな毎日を送らせてあげたいです。妻との関係には、「研究支援員制度」も活用させて頂きました。様々な制度があることも大変ありがたかったです。その制度を必要とする人間関係が大切だと思っております。

**★お役立ち情報①ー【FD研修】ダイバーシティセミナーを開催しますー**

早稲田大学での取り組みをもとに、性的マイノリティの学生に対する配慮、支援などについて学びます。

日時：6月28日(金) 16:30~18:00  
会場：広敷センター スペースC  
※米子会場 第二中央図書館2階 キャンサーボード (LAV中庭)

内容：LGBTQの学生への支援と対応について  
講師：早稲田大学ロースセンター 専門委員 公認心理師/臨床心理士 大塚 一樹 氏

参加希望の方は、以下ダイバーシティキャンパス推進室までメールにてお申込みください。

**★お役立ち情報②ー新しいDVDと書籍が入りましたー**

DVD「みんな考えるLGBT」①②③や、書籍「衛生と親のためのLGBTガイド 進歩的な心算」(著者:女性 ほんとの格差 石塚由紀子著)などが入りました。

推進室での閲覧や貸し出しもしておりますので、是非ご利用ください。

**ご案内・ご相談などは、下記までお寄せください**

F: 680-8550  
鳥取県鳥取市山形4丁目10-1  
ダイバーシティキャンパス推進室 (地蔵堂新棟4階)

E: 0857-91-5799 または 内線2166  
FAX: 0857-91-5797  
Email: daijyo@edu.tottori-u.ac.jp  
E: P: http://www.sadokan.tottori-u.ac.jp/ (※鳥取大学国際情報センターにて閲覧可能)

室長: 長谷 順子 室長 長谷 順子 (キャリアコンサルタント)  
専任コーディネーター: 長谷 順子 (キャリアコンサルタント)

Tottori University Office for Campus Diversity  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室便り 令和元年8月5日

## Pear Pair 通信 第30号

**お知らせーとりりんガマースクール2019開催ー**

今年度も8月19日から23日までの5日間、夏季学修支援「とりりんガマースクール2019」を開催します。学習費や関係者の利用状況により、夏休みの一環として開催できませんが、今年度も多くの教職員に申し込んでいただきました。大学ならではの体験や施設見学、大学パスを利用した市内施設の見学などを予定しており、現在お申し込みをすすめております。教職員のワークライフバランスの一助となるよう取り組んでまいります。

**この号の内容**

- お知らせ
- 活動報告①
- 活動報告②
- この号の編集者
- 今号の予定

〒680-8550 鳥取県鳥取市山形4丁目10-1 鳥取大学ダイバーシティセンター

---

**活動報告①ーダイバーシティセミナーを開催しましたー**

男女共同参画推進室の関連イベントとして、6月28日(金)に、早稲田大学ロースセンターの大塚一樹氏をお迎えし、「ダイバーシティセミナー」を開催しました。

セミナーには、中島学長をはじめ、庶務学生と接する大学、支援学校教員、学生部職員などが参加し、米子キャンパスと中庭で行われました。

大塚一樹氏は、臨床心理士として、東洋大学の公立学芸スクールカウンセラー、早稲田大学においては、国内初のセクシャル・ダイバーシティ学生支援の部署であるロースセンターに専門委員として従事しながら、ジェンダー平等社会の実現を目指して幅広く活躍していらっしゃいます。

セミナーは、大塚氏自身のセクシュアリティについて、早稲田大学でどのようにしてロースセンターが設立されることになったのか、ロースセンターではどのようなことを行っているのか、また、ロースセンターでLGBTQの学生からどのような相談があるのかなど、本学で今後支援をすすめていく上で、大変参考となることとお感じいただきました。

受講者より「早稲田大学の組織化された発達的な取り組みについて学ぶことができた」との感想があった一方、「LGBTQの学生は」という意見をよく聞くが、そうではないこともしっかり受け取らなければならない。「教職員の理解が少なすぎる。教職員の意識が低いのだと思う。今後のために意識を高めるような工夫が必要。」との意見をいただきました。

ダイバーシティセミナーに先立ち、推進室副推進室を対象としたセミナーの中で大塚氏は、学生からの意見を聞きボトムアップすることも大切であるが、ボトムアップは推進を動かすにはどうしても時間を要してしまう。トップダウンで進め、大学が動いていることを示すことも重要であると意見をいただきました。

**★室員紹介 野上 敏村さん 工学部化学バイオ系学科 准教授**

はじめまして、今年度4月から室員を務めています。「筆通」や「筆通」を掲げ、今年度も研究にも取り組む重要な思考回路です。5歳として産後を乗り越え、様々な視点から物事を考えられるようにしたいと思っています。専門は有機合成化学です。オリゴ糖の合成や電気反応開発を10年以上続けています。

6月に香港で開催された会議中、「The GEO Power Hour」と名付けられた、科学研究におけるダイバーシティ推進のためのグループワークに参加しました。アメリカ人同士の議論に参加するのは難しかったが、皆が大変真剣に考えているのがよく分かりました。私たちのグループは「バイアス(傾向・偏見)」について議論しました。進めるとはバイアスがかかっていますが、自分の意見や判断にバイアスがかかっていることは気づかずに、バイアス解消の特効薬はありません。時間はかかりますが、他人との議論を通じて自分のバイアスに気づくことが大切という議論になりました。

**★お役立ち情報 英語論文セミナーを開催しますー**

毎年多くの方に参加いただいている英語論文セミナーを今年も下記日程にて開催します。

**◆鳥取地区**  
日時：9月17日(火)  
①工学系 13:00~14:30  
②生物・化学系 14:45~16:15  
会場：広敷センター スペースC

**◆米子地区**  
日時：10月9日(水)  
①医学系 15:30~17:00  
②理学系 17:15~18:45  
会場：総合教育棟2階 共用会議室2

講師：株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役 中山 裕木子 氏

参加希望の方は、以下ダイバーシティキャンパス推進室までメールにてお申込みください。

**ご案内・ご相談などは、下記までお寄せください**

F: 680-8550  
鳥取県鳥取市山形4丁目10-1  
ダイバーシティキャンパス推進室 (地蔵堂新棟4階)

E: 0857-91-5799 または 内線2166  
FAX: 0857-91-5797  
Email: daijyo@edu.tottori-u.ac.jp  
E: P: http://www.sadokan.tottori-u.ac.jp/ (※鳥取大学国際情報センターにて閲覧可能)

室長: 長谷 順子 室長 長谷 順子 (キャリアコンサルタント)  
専任コーディネーター: 長谷 順子 (キャリアコンサルタント)

Tottori University Office for Campus Diversity  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室



# Pear Pair 通信 第31号

## ●お知らせ -女子学生のための企業見学会-

本年も、9月24日、25日の二泊二日で、大府府橋本市にあるダイキン工業株式会社と、和歌山市にある花王株式会社の2社に訪問しました。両社ともそれぞれの分野で日本を代表するメーカーであり、経済産業省が認定する「ダイバーシティ推進企業100選」として表彰されています。なかでもダイキン工業は、多様な社員が働き続けられる環境づくりに力をいれており、男性パートナーを配偶者として認め、性別による性差別として認めるなど先進的な取り組みを行っています。また、男性の育児休業取得率が77%、有給取得率は99.3%。先進的な会社では驚異的な数字です。本学でも是非見習いたいものです。

### この号の内容

- お知らせ
- 企業見学会
- 企業見学会 和歌山 企業見学会
- 企業見学会 鳥取

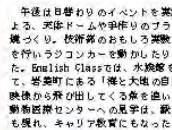
### 今号の予定

11/17 企業見学会レポート 女子学生  
11/27 女子学生のための企業見学会 (後編)

## ●活動報告 -とりりんサマースクール2019を開催しました-



教職員のワークライフバランス支援の一環として、本年も8月19日から23日までの5日間、湖山ウラジにおいて、夏季学童保育「とりりんサマースクール2019」を開催しました。昨年より開催場内小・中学校の完結型の方にお願いし、しっかりと研修の時間を確保しています。日程期間が夏休みの終盤と近いこともあり、夏休みの宿題を終えている児童も多く、本日は児童に合わせ、夏マス計算や漢字の書き取りなどのほか、馬場や馬場所在地を答えるプリントも配布し、参加した児童は馬場プリントに取り組みしていました。



午後は日替わりのイベントを実施。英文研究会の学生による、英語ゲームや単語クイズのクイズ大会も、個性あふれる。技術者のおもしろ実験室では、プログラミングを行いラジコンカーを動かしたり、ラムネづくりをしました。English Classでは、水泳観望工作。大学のバスに乗り、岩垂町にある「瀬と大地の自然館」にも行き、3Dの映像から飛び出してくる景色を眺めました。なかでも、動物園センターへの見学は、好評になりましたという児童も複数。キャリア教育にもなったようです。



短い期間でしたが、学年や学校の異なる方たちとの出会い、親や学校とは異なる指導員との生活は、児童の自立を促し、協調性を養うことができたのではないかと思います。ご協力いただきました教職員の皆さま、運営にご協力いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。また来年、成長した子供たちに会えることを、楽しみにしています。

## ★室員紹介 内田 伸恵さん 医学部附属病院放射線診療科 教授 ワークライフバランス支援センター長



はじめまして、4月から室長となりました。教育研究および診療では、がんの放射線治療を専門としています。論文2人著でしたが、研究費・実の長期休職を経て、今年着書「オンコロジー」に執筆の機会がありました。男女共同参画やダイバーシティ推進に関しては、前住徳島大学医学部で、文学部学芸学教授による女性スタッフ支援室の立ち上げに携わりました。現在は医学部附属病院でワークライフバランス支援に取り組んでいるほか、産科学会や婦人科学会でも女性活躍推進に関わっています。協力ではありますが、色んな立場の人が働きやすく、さらに活躍できるように、尽力したいと思います。

専門：放射線治療学、がんの療育の診療 趣味：読書、ピアノ

## ★お役立ち情報 -不妊治療費の助成(鳥取県)-

不妊に悩む不妊治療を受ける方は年々増加しています。医療保険が適用されないため、高額の治療費を負担しなければなりません。不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の助成を受けることができますので、ご紹介します。

- ◆不妊検査助成  
助成金額：結婚3年以内の夫婦が受けた検査費(保険適用外)の1/2(上限1万3千円)  
助成回数：一組の夫婦につき1回限り
- ◆人工授精助成  
助成金額：人工授精に要した費用の2分の1を、1年度あたり10万円まで  
助成回数：通算2年度まで
- ◆特定不妊治療助成  
体外受精及び顕微鏡授精(特定不妊治療)及び特定不妊治療と合わせて精子又は卵子提供から採取するための手術(男性不妊治療)に要する費用の一部を助成。  
助成回数：4回未満(初回手術の施術開始日の歳の年齢) 通算6回まで  
4回未満(初回手術の施術開始日の歳の年齢) 通算6回まで

助成金額、条件等は市町村により異なり、上記の助成に上乗せして助成を行っている場合があります。詳しくはお住まいの市町村窓口へお問い合わせください。

## ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550  
鳥取県山形町大字目10-1  
ダイバーシティキャンパス推進室(地階新館4階)  
TEL: 0857-31-2769 または 内線2166  
FAX: 0857-31-2797  
Email: diversity@u.tottori-u.ac.jp  
E: P: http://www.sakaku.tottori-u.ac.jp/  
(※日本大学グループ推進室HPにて公開中)

室長：榊井 由紀 理事  
専任コーディネーター：黒谷 順子【キャリアコンサルタント】

Tottori University Office for Campus Diversity  
Pear Pair 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

# Pear Pair 通信 第32号

## ●お知らせ -ライフイベントを考える-

昨年放送されたテレビドラマ「隣の先生はくさくさ」は、結婚中の主人公を中心に描かれたドラマで、結婚当初は二人の生活を羨しみ、家を購入したことをきっかけに仲直りをするのですが、なかなか子供が授かるという難題でした。

不妊の大きな理由は年齢によるものと書かれています。大学院への進学、就職を控えた学生を対象に自身のライフイベントを考えるセミナーを企画しました。講師は鳥取県東部不妊相談センターの橋本管理師と皆藤准高の長谷が担当です。知見は持ってはいるに不足ありません。是非ご参加をお願いします。

### この号の内容

- お知らせ
- 企業見学会
- 企業見学会 和歌山 企業見学会
- 企業見学会 鳥取

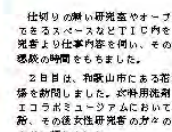
### 今号の予定

12/11 ライフイベントセミナー  
12/11 コミュニケーションセミナー

## ●活動報告 -女子学生のための企業見学会2019を開催しました-



9月24〜25日、1泊2日の日程で開催しました。この見学会は、女性研究者の活躍促進と女子学生のキャリアデザイン支援の一環として、平成28年度から男女共同参画推進室が実施しています。今年度はダイキン工業株式会社と花王株式会社の2社を見学しました。1日目は、大府府橋本市にあるダイキン工業株式会社のアクリル樹脂研究所(アクリル樹脂)を訪問しました。T10は、2015年に設立された研究所で、1階受付を入ると心優しい香りが漂い、空気が空気を常に保つてくれる企業であることがわかりました。



2日目は、和歌山市にある花王株式会社の和歌山工場を訪問しました。技術者としての工場を見学した後、エコマニファクトリーにおいて環境への取り組みが、その女性研究者のみなさんのお話を伺い、質疑応答させていただきました。



参加した学生より「実際に企業で働く女性がイベントを完結させるのが、また家庭や育児と両立させるのが、いそいそと準備されている姿を見てモチベーションにつながった」「女性が働く上でどのような問題があるかを改めて身近なものとして考えることができた」との声が寄せられました。

## ★室員紹介 稲津 秀樹さん 地域学部地域創造コース 准教授



1984年神戸市生まれ。開成学院大学社会学部非常勤講師などを歴任し、2017年より本学地域学部准教授に就任しました。現在、性別の観念としては「地域社会学」と「多文化共生社会学」を、共同の観念としては、「地域社会学」と「グローバル時代の社会学と国際社会学」等を担当しています。

多様性(ダイバーシティ)が求められる時代でありながら、なおも性別されない差別・排除があるというパラドックス的な状況について考えています。観念と現実を巡り、近道別解/海生島/ホームレス/障害/生活/LOI/在日外国人/異文化理解等の視座から学ばせて頂いています。「おれわれ」と「彼/彼女」の間に分断を生み出される論議と構想を巡ると同時に、分断を越えるオルタナティブな社会を構想する上での「共生の条件」について、大学の内外で模索したいと思っています。

## ★お役立ち情報① -ライフイベントセミナー(学生対象)を開催します-

ライフイベントとは? 結婚って? 住まうの考えは? ダブルケアとは? キャリアプランを考える必要性についてお話しします。

講師：キャリアプランニング 長谷 順子  
日時：12月11日(月) 16:30~17:30  
会場：広葉センター スペースD  
講師：鳥取県東部不妊相談センター 橋本万佐子  
ダイバーシティキャンパス推進室 長谷順子

## ★お役立ち情報② -【FD研修】コミュニケーションセミナーを開催します-

接客との円滑なコミュニケーションは、仕事をする上でも、生活をする上でもとても重要です。しかしながら、人は相手の行動や態度が気に障ると、ついそれを自分のフィルターで見てもいい、相手や自分の評価を低くしてしまいがちです。

多様性を認め、お互いの個性を尊重しながら共存するために「自己尊重の心」について考えましょう。

講師：竹田 伸也 准教授  
大学院教育学部心理学専攻  
講師：自分も相手も大切にしようコミュニケーション術  
〜真心に帰って自己尊重をしよう〜  
日時：12月17日(木) 19:00~17:15  
会場：広葉センター スペースD  
※米子地区への中継はありません。

参加希望の方は、いずれも下記、ダイバーシティキャンパス推進室までメールにてお申込みください。

## ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550  
鳥取県山形町大字目10-1  
ダイバーシティキャンパス推進室(地階新館4階)  
TEL: 0857-31-2769 または 内線2166  
FAX: 0857-31-2797  
Email: diversity@u.tottori-u.ac.jp  
E: P: http://www.sakaku.tottori-u.ac.jp/  
(※日本大学グループ推進室HPにて公開中)

室長：榊井 由紀 理事  
専任コーディネーター：黒谷 順子【キャリアコンサルタント】

Tottori University Office for Campus Diversity  
Pear Pair 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室



# Pear Pair 通信 第33号

## ●お知らせ - チェックリストの実施 -

当室は、多様な個性・価値観を尊重し、偏見・差別及びハラスメントのないキャンパス作りを目的としており、教職員の皆さまにご自身の意識や行動についてチェックいただきたく、全教職員を対象に多様な性に関するチェックリストの実施を依頼しています。

目標何もなく言っていることや、持っていることが価値を傷つけていないか、この機会にご自身の誤解について見直していただければと思います。実施についてはあらためてご案内します。

### この号の内容

- お知らせ
  - 活動報告①
  - 活動報告②
  - 直轄施設 山形県 役所
  - 関連企業 企業主選奨保育園
- 今号の予定  
多様な性に関するチェックリストの実施

## ●活動報告① - ライフプランセミナーを開催しました -

12月11日(水)に、学生を対象としたライフプランセミナー『キャリアを考えたよ』を開催、鳥取県東部庁舎研修センターの橋本智博講師と、キャリアコンサルタントである長谷川コーディネーターが講師を務めました。



セミナーでは、結婚をテーマにしたドラマ「隣の芝生は青く見える」を紹介し、なぜ主人公の夫婦は子どもがなかなか産まなかったのかを考えたことからスタート。妊娠には避妊期間があること、予定には女性だけがではなく男性もあること、また、企業勤務する妻の希望の女性を決定し、なぜ妊娠・出産が年齢化するのかを考えました。

受講した学生は「思った知識を得ることができた」「キャリアプランに興味がありました。今後就職活動で意識の一つにしていきたい」「知らなかった、考えなかったからという理由で幸せを逃したくないと思った」と受講して良かったと回答。セミナー終了後も、質問がつつと、学生は満足そうでした。

## ●活動報告② - コミュニケーションセミナーを開催しました -

12月17日(火)に、大学院医学系研究科の竹田尚也准教授をお迎えし、コミュニケーションセミナー『自分も相手も大切にコミュニケーション術〜真心に添って自己尊重を考えよう〜』を開催しました。

セミナーは、小学生と中学生を対象に実際に使われているアサーション視覚プログラムを准教授が体験、まさに真心に添り、価値観の異なる人同士が、互いに尊重しあってコミュニケーションする「自己尊重の心」について考えました。私たちは、相手の行動や態度が気になること、ついそれを見つめてしまったり、相手の行動や態度が気になること、ついそれを見つめてしまったり、その行動や態度の感には、何か事情があるのかも」と思いを馳せることで、他人だけでなく自分にもやさしくなれるとの竹田准生のメッセージに共感しました。



受講者からは、「対応事例が多く、わかり易かった。」「小学生向けの教材ということで、客観的に見ることができ、いろいろと考えることができました。」「コミュニケーションの重要性、言葉えらび、相手の気持ちも考える事の大切さを再認識出来た。」「との感想が寄せられ、あらためてコミュニケーションの重要性を認識したセミナーとなりました。

## ★この人にきく 佐久間 俊さん 農学部 助教

鳥取大学農学部研究員の佐久間です。農学部は多様な農学・生命科学、分子生物学、生産学、環境学、作物学、園芸学、農業工学など幅広い農学関連分野の技術・知識をフル活用して実践を行います。植物育種の融合、遺伝子編集、環境改良、遺伝子組み換え、ゲノム編集などの技術が許容されているため自由度の高い研究ができます。



研究室のみんなと(佐久間さんは中央)

2016年に鳥取大学農学部に着任し、2019年から研究支援員制度を利用させていただいています。この制度は若手研究員およびその家族に対して非常勤でなくとも研究できる喜びを、研究支援員の方、研究員の学生と一緒に研究できる喜びを大切に夢のある研究をしていきたいです。

## ★お役立ち情報 - 企業主選奨保育園「森のようちえん・風りんりん」-

企業主選奨保育園とは、多様な状況形態に対応する保育サービスの拡大を行い、保育所待機児童の解消を図り、仕事と子育ての両立を実現することを目的として、内閣府の監督・助成で運営されるものです。鳥取市でも企業主選奨保育園「森のようちえん・風りんりん」が開設され、教職員のワークライフバランス、利便性向上のため、本室も契約予定です。

この保育園のメリットは以下の通りです。ご希望の方は保育園へお問い合わせください。

- ①短時間労働や労働日数が少なくても、預けることが可能。
- ※勤務が4時間に満たなく、パートタイムや週に数日の勤務でも預けられます。
- ②土曜日も開園、朝7時から夜7時まで開園。
- ※勤務時間、通勤などに関係なく預けられます。
- ③保育料減額化対象園なので、3歳児〜就学前のお子さんは減額化対象。
- ④清潔な保育、一時預かりあり。



【要 要】

対象年齢：0歳6か月〜就学前(5歳児)

定 員：73名

開 園 日：月〜土曜日(日・祝、年中年始、お盆は休園)

保育時間：7時〜19時(18時以降は延長保育(有料))

住 所：鳥取市南原691

オ ー ル：info@furmim.com

電 話：090-85588-6887

営 業：自園給食

### ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒850-8550  
鳥取県山形町4丁目101  
ダイバーシティキャンパス推進室 [池津事務所4階]  
TEL: 0857-91-5769 または 内線2166  
FAX: 0857-91-5777  
Email: diversity@edu.tottori-u.ac.jp  
E F: http://www.tottori-u.ac.jp/0003.htm  
(平日9時～17時、休校日を除く)



監修：藤井 由依 専事  
専任コーディネーター：奥谷 順子 [キャリアコンサルタント]

平成 31(令和元)年度 ダイバーシティキャンパス推進室活動報告書  
令和 2年 3月 発行

発行 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL: 0857-31-5769 (内線2166)

E-mail:diversity@adm.tottori-u.ac.jp

ダイバーシティキャンパス推進室ホームページ

<https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>